

# 自転車交通安全教育 地域一体型プロジェクト



平成 23 年 3 月

(財) 日本交通安全教育普及協会

## はじめに

近年の健康・体力づくりや環境保護の機運の高まりにより自転車の利用が盛んになっています。自転車は手軽な交通手段であり、交通手段としての利便性が高いことから、子どもから高齢者まで幅広く利用されています。しかし、自転車の交通事故は、事故件数や死傷者は全体としては減っているものの、平成22年においては交通事故死者の13.5%、重傷者の22.0%、軽傷者の16.5%を占めております。また、自転車の交通事故死傷者は、15歳以下が18.2%、16～19歳層が14.2%を占めるなど、若年層に多くなっています。

財団法人日本交通安全教育普及協会は交通安全教育の普及に関し各種の啓発事業や調査研究を行っておりますが、生涯にわたっての交通安全教育や地域における関係者の連携による交通安全教育の重要性という観点から、自転車の交通安全教育にも力を注いでいるところであります。

当協会においては、この一環として、平成19年度から各方面の協力を得て埼玉県において「自転車交通安全教育地域一体型プロジェクト」事業として、幼稚園・保育園・小学校の幼児・児童やその保護者を対象とし、地域の学校、警察や関係機関、関係団体等が一体となった参加・体験型の自転車交通安全教育を実施してきております。この事業は、幼児や児童が保護者と一緒に自転車の安全な乗り方を学び、交通安全意識・交通安全行動を向上させるとともに、この事業に地域が協働することを通じて地域の交通安全、ひいては安全・安心なコミュニティづくりに貢献することを目的としております。

平成22年度においては、埼玉県の8か所の幼稚園・保育園・小学校において「自転車安全教室」を開催しました。これは、幼児・児童やその保護者を対象に自転車の実技体験を通じて安全意識を醸成するものでありますが、あわせて、地区のリーダーにも参加していただき、地域における指導者の養成にも努めました。

また、小中学校の教員に対し、児童生徒への実践的な自転車指導方法について「交通安全指導者研修会」を実施いたしました。

さらに、小学校における自転車の交通安全教育に資するため、新たに「安全教育指導プログラム」を作成しました。このプログラムは、自転車で道路を走行する場合において、具体的な交通場面ごとに、どのような危険性が潜んでいるか、どのようにしたら事故を回避できるかといったことを、自分で考えさせることにより、安全行動を身につけさせることを狙いとした学習教材です。低学年・中学年・高学年別に、また、学習時間が1時間の場合・短時間の場合と時間別に作成しました。小学校などにおける自転車交通安全教育の場での活用を願うものであります。

平成22年度の事業についてご協力をいただきました各方面の関係者やブリヂストンサイクル株式会社に対し、厚く御礼申し上げます。

平成23年3月

財団法人日本交通安全教育普及協会 専務理事 川口 雄

# 目 次

はじめに

1. 事業の概要

2. 自転車交通安全教育推進委員会

3. 事業の内容

(1) 自転車交通安全教室の実施

(2) 自転車啓発パンフレットの作成配布

(3) 交通安全指導者研修会の実施

(4) 調査研究委員会の開催

(5) 危険予測学習用「安全教育指導プログラム」の制作

4. 事業の考察と課題

5. 今後の事業展開について

# 1. 事業の概要

## 1. 事業の概要

### ◆事業の目的

近年、交通事故死者数や交通事故件数は減少傾向にあるものの、全交通事故に占める自転車事故の割合は依然として高く、自転車をめぐる交通情勢は厳しい状況にある。

本事業では、自転車が最初の身近な乗り物となる小学生に対して、自転車の安全な利用の仕方を学ぶ交通安全教育を推進すると同時に、地域での指導者養成を図りながら、地域全体の自転車運転技能やマナーを向上させ、安全・安心の街づくりに包括的に貢献することを目的とする。

### ◆テーマ

地域を核とした小学生への自転車交通安全教育の展開と体制の確立

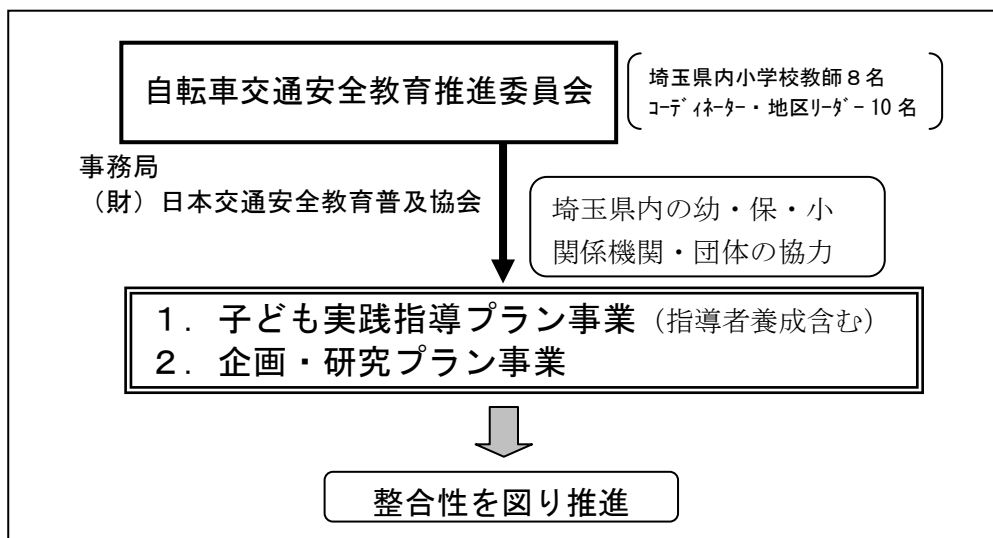
### ◆事業の背景

- ・自転車利用者が守る「ルール・マナー」態度が悪化（子供～大人）
- ・自転車事故が増加傾向（加害者：小学生 被害者：高齢歩行者）
- ・躰の一環とした小学生からの交通安全教育が重要

### ◆具体的目標

- ・地域を主体とした指導カリキュラムと体制の確立
- ・地域内での自転車事故削減と交通安全意識の向上

### ◆実施体制と事業



## 2. 自轉車交通安全教育推進委員会

## 2. 自転車交通安全教育推進委員会

### ◆目的

本委員会は「自転車交通安全教育地域一体型プロジェクト事業」（以下「本事業」という）の円滑且つ効果的な推進を図ることを目的とする。

### ◆事業

本委員会は、上記 1 の目的を達成するために次の事業を行う。

- ①委員会を開催し、必要な事項の検討等を行う。
- ②小委員会（調査研究委員会）の開催
- ③必要に応じて「本事業」への指導、協力、視察等を行う。
- ④その他、本委員会の目的達成に必要な事業を行う。

### ◆小委員会（調査研究委員会）

本委員会は、上記 2 の事業を推進するために、必要に応じて調査研究委員会を設置し、次の事業を実施する。

- ①小学校の児童・教師・保護者向け交通安全教育用教材の作成・普及
- ②園児・児童対象のアンケート分析に基づく研究協議
- ③その他、必要とされる事業

### ◆事務局

本委員会の事務局は、（財）日本交通安全教育普及協会に置き、次の事項を執行する。

- ①本委員会の開催等に関すること。
- ②各委員の委嘱や連絡調整等に関すること。
- ③関係資料等の作成や文書の処理等に関すること。
- ④その他、必要事項等に関すること。

### ◆その他

- ①本委員会の委員は、別紙のとおり。
- ②本委員会要項の実施に関し必要な事項は本委員会において決定する。
- ③本委員会要項は、平成 19 年 4 月より施行する。

平成 22 年度自転車交通安全教育推進委員会 委員名簿

※敬称略・順不動

No.	氏 名	所 属	備 考
1	猪狩一史	朝霞市立朝霞第五小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
2	伊藤正和	狭山市立富士見小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
3	菊池哲也	川口市立十二月田小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
4	渡辺 中	富士見市立関沢小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
5	関根祐一	所沢市教育委員会 指導主事	(調査研究委員兼務)
6	永嶋和実	さいたま市立土合小学校 教頭	(調査研究委員兼務)
7	細内滋実	入間市立藤沢南小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
8	西山 学	さいたま市立大宮北小学校 教諭	(調査研究委員兼務)
9	柴崎正司	地区コーディネーター	
10	岩崎てる子	地区リーダー	
11	岡安節子	地区リーダー	
12	桜井英二	地区リーダー	
13	佐藤紀彰	地区リーダー	
14	星野裕子	地区リーダー	
15	渡辺雅子	地区リーダー	
16	小宮道子	地区リーダー	
17	吉野 房子	地区リーダー	
18	松本 達明	地区リーダー	

※No.1～8 の各委員の所属は平成 22 年 4 月 1 日現在

※地区コーディネーター・地区リーダー

（交通安全活動に限らず、日ごろ地域のために積極的かつ継続的にボランティア活動をされている警察関係、自治会関係、青少年育成関係等の方々です。）

◇事務局

1	西 則光	(財) 日本交通安全教育普及協会 常務理事
2	成迫俊美	(財) 日本交通安全教育普及協会 主幹
3	石川英司	(財) 日本交通安全教育普及協会 課長



### 3. 事業の内容

### 3. 事業の内容

#### (1) 自転車交通安全教室の実施

さいたま市・上尾市内の幼稚園、保育園、小学校の園児・児童を対象に自転車の実技体験を通じて安全意識を醸成する自転車交通安全教室を計9回実施。指導者の養成を図るため地区リーダーも参加。

#### 幼稚園・保育園

##### ①大宮保育園（さいたま市）

期 日：平成22年5月28日（金） 午前10時～11時

会 場：大宮保育園「講堂」

参加者：大宮保育園園児 21名

指導者：交通指導員、地区リーダー（補助）

内 容：腹話術、パネルシアター、自転車の発進・停止、信号の意味



##### ②大成保育園（さいたま市）

期 日：平成22年6月2日（水） 午前10時～11時

会 場：大成保育園「講堂」

参加者：大成保育園園児 19名

指導者：交通指導員、地区リーダー（補助）

内 容：腹話術、パネルシアター、自転車の発進・停止、信号の意味



③普門院幼稚園（さいたま市）

期 日 ： 平成22年6月4日（金） 午前10時45分～11時45分  
会 場 ： 普門院幼稚園「講堂」  
参加者 ： 普門院幼稚園園児 150名  
指導者 ： 交通指導員、地区リーダー（補助）  
内容 ： 腹話術、パネルシアター、自転車の発進・停止、信号の意味



④大成幼稚園（さいたま市）

期 日 ： 平成22年6月24日（木） 10時45分～11時45分  
会 場 ： 大成幼稚園「講堂」  
参加者 ： 大成幼稚園園児 69名  
指導者 ： 交通指導員、地区リーダー（補助）  
内容 ： 腹話術、パネルシアター、自転車の発進・停止、信号の意味



## 小学校

### ⑤大石北小学校（上尾市）

- 期 日 : 平成22年6月16日（水） 13時30分～15時30分  
会 場 : 大石北小学校「グラウンド」  
参加者 : 大石北小学校 3年生 138名  
指導者 : 交通指導員、地区リーダー（補助）  
内 容 : 点検、乗車姿勢、ヘルメットの着用方法  
基本走行（信号交差点、信号のない交差点、駐車車両の側方走行）  
総合走行



### ⑥平方小学校（上尾市）

- 期 日 : 平成22年7月2日（金） 9時30分～11時30分  
会 場 : 平方小学校「グラウンド」  
参加者 : 平方小学校 3年生 65名  
指導者 : 交通指導員、地区リーダー（補助）  
内 容 : 点検・乗車姿勢・ヘルメットの着用方法  
基本走行（信号交差点、信号のない交差点、駐車車両の側方走行）  
総合走行



⑦大成小学校（さいたま市）

期 日 ： 平成22年7月10日（土） 9時30分～11時30分

会 場 ： 大成小学校「グラウンド」

参加者 ： 大成小学校 1年生～6年生 153名

指導者 ： 交通指導員、地区リーダー（補助）

内 容 ： 点検の仕方・乗車姿勢・ヘルメットの着用方法

基本走行（信号交差点・信号のない交差点・駐車車両の側方走行）

総合走行



⑧芝川小学校（さいたま市）

期 日 ： 平成22年10月16日（土） 13時30分～15時00分

会 場 ： 芝川小学校「校舎前」

参加者 ： 芝川小学校 児童・保護者 約120名

指導者 ： 自転車整備士（ブリヂストンサイクル株）

内 容 ： 参加者が持参した自転車の点検指導



⑨今泉小学校（上尾市）

期 日：平成22年10月22日（金）13時20分～15時20分

会 場：今泉小学校「グラウンド」

参加者：今泉小学校 3年生・4年生 119名

指導者：交通指導員、地区リーダー（補助）

内 容：点検の仕方・乗車姿勢・ヘルメットの着用方法



基本走行（信号交差点・信号のない交差点・駐車車両の側方走行）

総合走行



自転車安全運転証の交付

自転車交通安全教室に参加した小学校の児童に交付。法的な効力性はないが、本事業に参加した証として子ども達の誇りと励みになり、今後自転車を「車両」として利用する自覚や意識の定着化を促進するために交付。

 <b>自転車安全運転証</b>		
氏名	〇〇〇〇	平成 年 月 日生
学校名	〇〇市立〇〇小学校	血液型 型
写真	番号 000000000000	
	交付 平成22年 月 日	
財団法人日本交通安全教育普及協会 		

(2) 自転車啓発パンフレットの作成・配布（児童向け）

家庭における自転車の基本的なルールやマナーの周知を図るために児童向け自転車啓発パンフレットを作成配布

- 配布数 : 20,000部
- 配布先 : 主としてさいたま市および上尾市内の小学校140校
- 配布時期 : 平成23年3月中旬
- 配布対象 : 小学5年生の児童

自転車啓発パンフレット〈表〉

じてんしゃこうつうあんぜん  
**自転車交通安全**

# 子ども掲示板

**「自転車のルール」を知ってから乗ろう!**

埼玉県では、自転車による死亡事故が多く起っており、大きな問題となっています。  
このような事故に巻き込まれないために、自転車に乗るときには、十分注意してください。

じてんしゃりょうしや  
自転車利用者が  
加害者に!

ばん  
数千円の賠償金を  
支払うことも

交通ルールを  
違反すると罰金も

こうさてんはしかた  
**交差点の走り方**

しんごう  
信号機のあるところ

あんぜん たし ぜんほう あおしんごう  
安全を確かめ、前方の青信号で  
ちよくしん こうさてん む がわ と  
直進して、交差点の向こう側で止まり  
む か しんごう あお  
向きを変え、信号が青になったら  
あんぜん たし ちよくしん  
安全を確かめ直進する。

しんごうのないところ

うげつ  
〈右折するとき〉  
安全を確かめ、道路の左側に寄って  
こうさてん のこうがわ まで直進して、  
そく をおとし、のちの安全確認をして  
うげつ、安全を確かめて直進する。  
うげつ  
〈左折するとき〉  
ぜんごう 左右の安全を確かめ、  
こうさてん のひだり 道路の左はしに沿って曲がる。

「自転車横断帯」を通過して、  
交差点を横断する。

横断歩道を通行するとき、歩行者が  
いる場合は自転車を押して渡る。

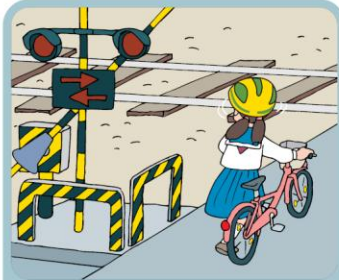
じてんしゃはし  
**自転車で走ることができるところ**

じてんしゃ くさま  
自転車は、(車のなかま)  
しや どう ひだりがわ はし  
車道の左側を走ろう!

ほ どう はし  
歩道を走るときは、  
けんこうしや けうせん  
歩行者優先だよ!

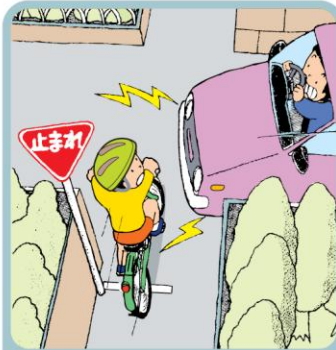
はくせん むようじ しんごう  
白線と標示で指定された  
ぶぶん 部分を徐行しよう!

## 事故の起こりやすい場所での注意



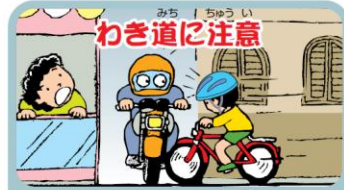
### 踏切の渡り方

踏切を渡るときは、自転車を押して歩きます。遮断機が上がっても、すぐに飛び出さず、右左をよく確かめて渡りましょう。



### 見通しの悪い交差点のとき

飛び出しは危ないよ、必ず止まって、前後左右の安全を確かめましょう。



### わき道に注意

すぐ停止できるように、徐行しましょう。



### 夕方や夜など、暗いとき

夕方や夜は、必ずライトをつけましょう。歩行者や自動車からも見えやすく安全です。

## 自転車に乗る前に点検しよう

反射器材がなかったりこわれていませんか。

サドルはしっかり固定されていますか。高さは合っていますか。

ハンドルはガタガタしていませんか。

ベルは鳴りますか。ブレーキはききますか。

ライトはしっかりとつきますか。

スタンドはしっかり立ちますか。

チェーンはゆるんでいた、さびていませんか。



タイヤに空気は十分入っていますか。

**フタ** レーキはききますか？  
イヤに空気は入っていますか？

**ベル** は鳴りますか？

**サラ** ドルは高くないですか？  
イトはつきますか？

**ハチ** ンドルはガタガタしていませんか？  
チェーンはゆるんでいませんか？

### 標識・標示を知ろう



自転車および歩行者専用



自転車専用



自転車通行止め



自転車横断帯



黄色と青の子カチカは、渡り始めてはいけないという合図だよ！



自転車公園へ行ってもいい？

ヘルメットを着けてからね！

自転車に乗るときは、ヘルメットを着けよう！

編集・発行

(財)日本交通安全教育普及協会

〒106-0031 東京都港区西麻布3-24-20  
TEL 03-3478-1831 FAX 03-3478-1835 URL <http://www.jatras.or.jp/>

無断で本書の全部又は一部の転載を禁じます。



(3) 上尾市での交通安全指導者研修会の実施

期 日 : 平成22年12月1日(水) 午後15時～午後16時30分  
会 場 : 上尾市役所「研修室」  
参 加 者 : 上尾市内の小・中学校教師40名  
主 催 : 上尾市教育委員会、(財)日本交通安全教育普及協会  
内 容 : 講 義 「児童生徒への実践的な自転車指導方法」

(4) 調査研究委員会の開催(年3回)

◆制作教材 危険予測学習用「安全教育指導プログラム」

	日時・場所	協議内容
第1回	7月1日(木) 15:00～17:00 埼玉会館	本年度実施内容の検討 教師向け自転車指導マニュアル ・対象学年と題材テーマについて ・作成の役割分担について ・その他
第2回	8月25日(水) 14:00～17:00 市民会館うらわ	教師向け自転車指導マニュアル ・各委員が作成したマニュアル案の 検討、協議 ・その他
第3回	11月11日(木) 14:00～17:00 埼玉会館	教師向け自転車指導マニュアル ・マニュアル最終案の確定 ・今後の活用方法の検討 ・その他

※「安全教育指導プログラム」は21ページより掲載

(5) 危険予測学習用「安全教育指導プログラム」の制作

交通場面に潜む危険、その危険を避けるための適切な行動について考え、危険を予測し、適切に対処することを学習するプログラムとして制作。学習題材は主として「自転車」をテーマとし、対象児童を低・中・高の3学年で構成した。また活用する機会は「朝の会」「帰りの会」などの『短時間扱い』のプログラム、「特別活動」「総合的な学習の時間」などの『1時間扱い』のプログラムに編集した。

〈 指導案一覧 〉


時間	対象学年	題材名
1時間扱い	低学年	①おうだんほどうをわたるとき
		②あぶない！どうろをわたるとき
	中学年	③止まっている車をよけるとき
		④自てん車で下り坂を走るとき
		⑤曲がった道路を走るとき
	高学年	⑥減速した車の左側を追い抜くとき
		⑦自転車で歩道を走行すると？
短時間扱い	低学年	①とびだしをしたら
		②こうつうルール ②-1 ほこう ②-2 じてんしゃ
		③じてんしゃにのるとき
	中学年	④並進・集団走行の危険
		⑤信号無視の危険
		⑥自てん車で狭い道から広い道へ出るとき
	高学年	⑦加害者にならないために
		⑧イヤホンで音楽を聞きながら自転車で走行すると？
		⑨無灯火運転の危険

# 指導案

(1時間扱い)

①小学校低学年 特別活動（1時間扱い）

<p>題材名</p>	<p>おうだんほどうをわたるとき</p>		
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通状況を読み取り、起こりうる危険を予測できるようにする。（右左折車両 等）</li> <li>・横断歩道を渡る際の、安全行動を身に付けられるようにする。</li> <li>・交通社会の一員として、周囲へ配慮した歩行や自転車の走行ができるようにする。</li> </ul>		
<p>事前の活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査の実施（ヒヤリ・ハット体験 など）</li> <li>・事前調査の集計、分析</li> </ul>		
<p>段階</p>	<p>学習内容・活動内容</p>	<p>指導上の留意事項</p>	<p>資料</p>
<p>はじめ</p>	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 事前調査結果や最近の事故のニュースなどから、感じたことを発表する。</p> <p>2 問題場面を知る。</p> <div data-bbox="293 981 1295 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>横断歩道を渡ろうとしています。どんな危ないことがあるでしょうか？</p> </div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「交通安全の現状」「事故事例」「アンケート結果」等から交通事故を自分の問題として受け止めさせ、何とかしなくてはならないという意識をもたせる。</li> <li>・「ヒヤリ・ハット地図」を作成し、学区の危険箇所を把握させる。</li> <li>・身近な交通場面の絵や写真を掲示する。</li> </ul> <div data-bbox="919 1128 1343 1482" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>[場面の読み取り]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おしゃべりしている</li> <li>・よそ見している</li> <li>・青い車が曲がってきている</li> <li>・車の方向指示器がチカチカしている</li> <li>・車に気づいていない</li> <li>・青い車の向こうから赤い車も曲がってくる</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。（どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</li> </ul>	<p>調査結果表</p> <p>場面絵・文部科学省指導教材「次はどうなる？」</p>
<p>展開</p>	<p>○場面を分析する。</p> <p>3 起こりうる事故を予測する。</p>	<p>T「このまま横断歩道を渡ると、どんな危険が起こりそうですか」</p> <div data-bbox="612 1738 1327 1908" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>[予想される児童の反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よそ見していて、曲がってくる車に気づかずぶつかる。</li> <li>・青い車のかげで見えない赤い車とぶつかる。</li> <li>・おしゃべりしていて信号が赤に変わる。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通状況から読み取れる危険を、できるだけ多く発表させる。（なぜ危険なのか理由を明らかにさせる）</li> </ul>	<p>ワークシート</p>

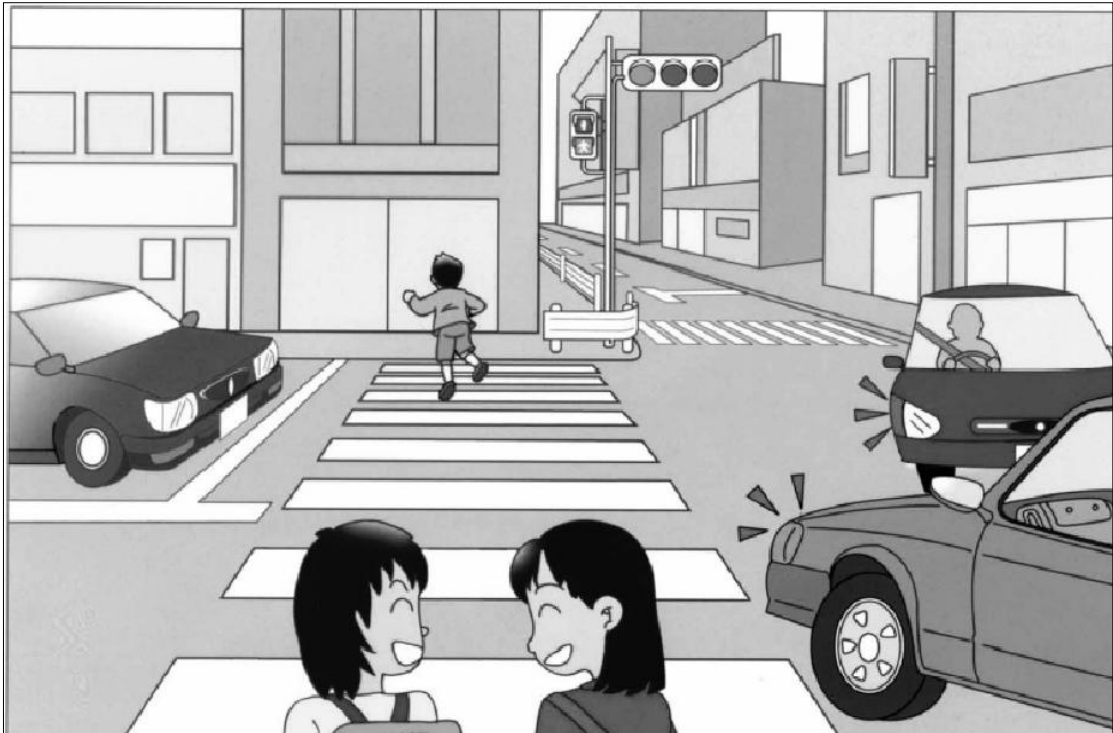
展 開	4 事故の理由を考える	<p>T「どうして事故が起きたのでしょうか。事故の理由を考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事故の原因には人的要因と環境要因の両方が関わって起こることが多いことを理解させて、児童が事故をどのように避けられるか、考えやすくさせる。</li> </ul>	ワ ー ク シ ー ト
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【人的要因】</b></p> <p>[油断]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おしゃべりしている</li> <li>遊びに夢中</li> <li>ゆっくり渡っている</li> </ul> <p>[安全確認をしていない]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一時停止をしていない</li> <li>左右確認をしていない</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【環境要因】</b></p> <p>[交差点・横断歩道]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通量が多い</li> <li>様々な交通状況が交錯する</li> </ul> <p>[運転者の心理]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交差点で、右左折車は早く曲がりたいと思っている。</li> </ul> </div> </div>		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>左折する青い車と衝突する。</li> <li>青い車に隠れた右折する赤い車と衝突する。</li> <li>青い車の後ろから左折するバイクや自転車と衝突する。</li> <li>赤い車の後ろから右折するバイクと衝突する。</li> <li>おしゃべりに夢中で横断途中から信号が赤になり茶色の車と衝突する。</li> </ul> </div>		
<p>○仮説を設定する。</p> <p>5 危険回避方法（安全行動）を選定する。</p>	<p>T「どうしたら安全に渡れるでしょうか。安全な行動を考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>回避方法を考え、理由を明らかにしながら発表させる。</li> <li>車で隠れて見えない「潜む危険」についても意識させる。</li> </ul>		
	<p>具体的な危険回避方法</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>「しっかり見る」 → 信号が青であっても安全とは限らない。必ず「一時停止」「左右確認」をする。</p> <p>「しっかり見せる」 → 低学年は特に小さく、運転者から見えにくい。しっかりと手を挙げる。黄色い帽子をかぶる。</p> <p>「相手からの視点」 → 急いで曲がりたい、横断者より先に曲がろう という心理。歩行者の見落としもある。</p> <p>「安全のための行動」 → 上記の安全行動に加え、運転者とのアイコンタクトを。自転車乗車中の場合、停車・降車して安全に横断。</p> </div>		
	<p>○仮説を検証する。</p> <p>6 選定した危険回避方法（安全行動）を検証する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの行動基準とその有効性を検討する。</li> <li>班別のまとめを発表し合い、理解を深めさせる。</li> <li>発表された危険回避方法が具体的かどうか、意見を出し合って確認させる。（模擬的な検証）</li> <li>重要な安全行動が児童から出ない場合には、必ず教師が補足する。</li> </ul>	
ま と め	<p>○安全行動を適応する。</p> <p>7 安全行動を実践化できるようにする。</p>	<p>T「横断歩道を安全に渡るためのめあてを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合ったことをもとにして、交通安全の自分のめあてを持ち、各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</li> </ul>	
事後 の 指導	<p>○めあてを教室内に掲示し、交通安全への意識化を図る。</p> <p>○めあてをもとに、自分の生活についてふり返り、自転車を安全に走行しようとする意欲を高める。</p> <p>○家庭でも話し合いをし、家族の交通安全についても考えさせる。</p>		

# 「おうだんほどうをわたるとき」ワークシート

なまえ

---

- 1 「おうだんほどう」を わたろうとしています。  
どんな あぶないことがあるでしょうか？（○をつけましょう。）

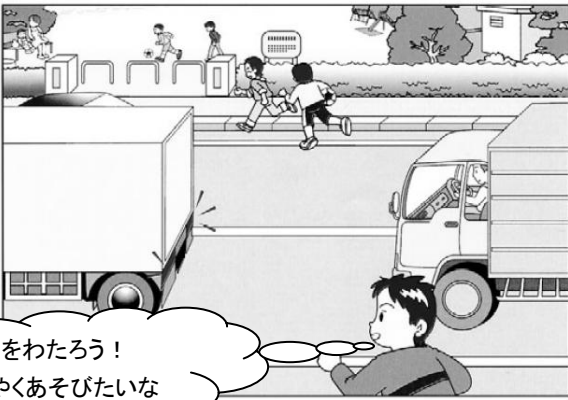



(文部科学省 指導教材「次はどうなる？」より)

- 2 どうしたら、あんぜんにわたれるでしょうか？

- 3 おうだんほどうを あんぜんに わたるための、「めあて」をかながえましょう。

②小学校低学年 特別活動（1時間扱い）

題材名	あぶない！どうろをわたるとき		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路横断時における危険を予測することができる。規準</li> <li>・安全で正しい横断ができるようにする。</li> </ul>		
事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査の実施（交通安全についての意識・行動アンケート）</li> <li>・事前調査の集計、分析</li> </ul>		
段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点	資料
はじめ	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 事前調査結果や最近の事故のニュースなどから、感じたことを発表する。</p> <p>2 問題場面を知る。</p> <div data-bbox="320 927 1272 1016" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>道路を渡って、むこうの公園に行こうとしています。 どんな危ないことが、あるでしょうか。</p> </div> <div data-bbox="181 1061 858 1487" style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「交通安全の現状」「事故事例」「アンケート結果」等から交通事故を自分の問題として受け止めさせ、何とかしなくてはならないという意識をもたせる。</li> <li>・身近な交通場面の絵や写真を掲示する。</li> </ul> <div data-bbox="887 1055 1362 1442" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>[場面の読み取り]</p> <p>環境面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手前の車線に車が停車している</li> <li>・道路の反対側に友達が見える</li> <li>・道路の反対側に公園がある</li> <li>・停車している車の間から男の子が道路を渡ろうとしている</li> </ul> <p>心理面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と早く遊びたくて急いでいる</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。（どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</li> </ul>	<p>調査結果表</p> <p>場面絵…文部科学省 指導教材「次はどうなる？」</p>
展開	<p>○場面を分析する。</p> <p>3 起こりうる事故を予測する。</p>	<p>T「このまま道路を横断したら、どんな危険が起ころうですか。」</p> <div data-bbox="584 1697 1251 1890" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>[予想される児童の反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右側から来ている車にぶつかってしまう。</li> <li>・止まっている車が走り出してぶつかってしまう。</li> <li>・走って行って転んでしまう。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通状況から読みとれる危険を、できるだけ多く発表させる。（なぜ危険なのか理由を明らかに）</li> </ul>	ワークシート

	<p>4 事故の理由を考え る。</p>	<p>T 「どうして事故が起きたのでしょうか。事故の理由を考えま しょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の原因には人的要因と環境要因の両方が関わって起こる ことが多いことを理解させて、児童が事故をどのように避け られるか、考えやすくさせる。</li> <li>・前後の車の死角による危険に注目させる。</li> <li>・「急いでいた」など、心理面にも触れる。</li> </ul>		
展 開	<p><b>【人的要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反対車線から車が来ていることに気が ついていない。</li> <li>・信号が青になって車が動き出すことに 気がついていない。</li> <li>・急いでいる。</li> <li>・友達の後を追いかけてしようとしている。</li> <li>・車の運転手が子供に気がついていない。</li> </ul>	<p><b>【環境要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車が停車している。</li> <li>・反対車線から車が来ている。</li> <li>・手前の車で反対車線の車が見えなく なっている。</li> <li>・歩道から車道に出られるようにな っている。</li> </ul>	ワ ー ク シ ー ト	
	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反対車線から走ってくる車に接触する。</li> <li>・信号が青に変わり、車が発進し、車に接触する。</li> <li>・あわてて飛び出し、転倒する。</li> </ul> </div>			
	<p>○仮説を設定する。 5 危険回避方法（安全 行動）を選定する。</p>	<p>T 「どうしたら安全に道路を渡れるでしょうか。安全な行動を 考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回避方法を考え、理由を明らかにしながら発表させる。</li> <li>・安全な場所（横断歩道・歩道橋）での道路横断、左右の安 全確認、急がず落ち着いて行動することなどの観点から具 体的な行動を話し合わせる。</li> </ul>		
ま と め	<p><b>具体的な危険回避方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路を横断するときには、横断歩道や歩道橋を使い、横断する。</li> <li>・横断歩道や歩道橋がない道路では、左右の安全を確認し、横断する。</li> <li>・急いでいる場合も、近くの横断歩道の場所まで行き、横断する。</li> <li>・路肩に車が停車している場合など、やむを得ず、停車している車の間から横断しなければ ならない時には、左右両方向から車が走ってくる場合があることを考え、停車している車の 陰から左右の安全を目で確認してから渡る。</li> </ul>			
	<p>○仮説を検証する。 6 選定した危険回避方 法（安全行動）を検証 する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの行動規準とその有効性を検討する。</li> <li>・班別のまとめを発表し合い、理解を深めさせる。</li> <li>・発表された危機回避方法が具体的かどうか、意見を出 し合って確認させる。（模擬的な検証）</li> </ul>		
	<p>○安全行動を適応する。 7 安全行動を実践化で きるようにする。</p>	<p>T 「道路を安全に渡るためのめあてを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことをもとにして、交通安全の自分のめあてを持ち、 各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</li> </ul>		
事後 の 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○めあてを教室内に掲示し、交通安全への意識化を図る</li> <li>○めあてをもとに自分の生活についてふり返り、安全な行動をしようとする意欲を高める</li> <li>○家族でも話し合いをし、家族の交通安全についても考えさせる</li> </ul>			

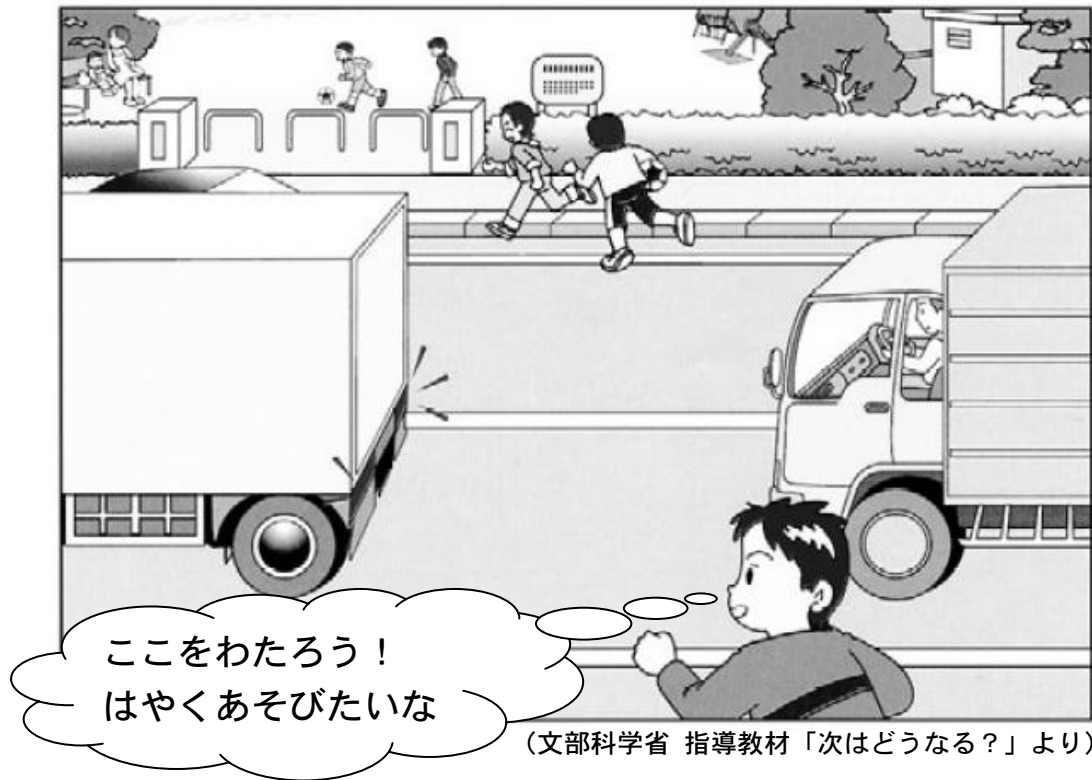


# 「あぶない！ どうろをわたるとき」ワークシート

なまえ

---

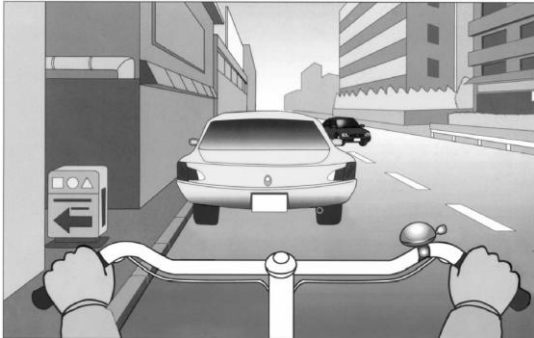
- 1 どうろをわたって、むこうのこうえんに いこうとしています。  
どんな あぶないことが あるでしょうか？（○をつけましょう）




- 2 どうしたら、あんぜんに どうろを わたれるでしょうか？

- 3 どうろを あんぜんに わたるときの、「めあて」をかながえましょう。

③小学校中学年 特別活動（1時間扱い）

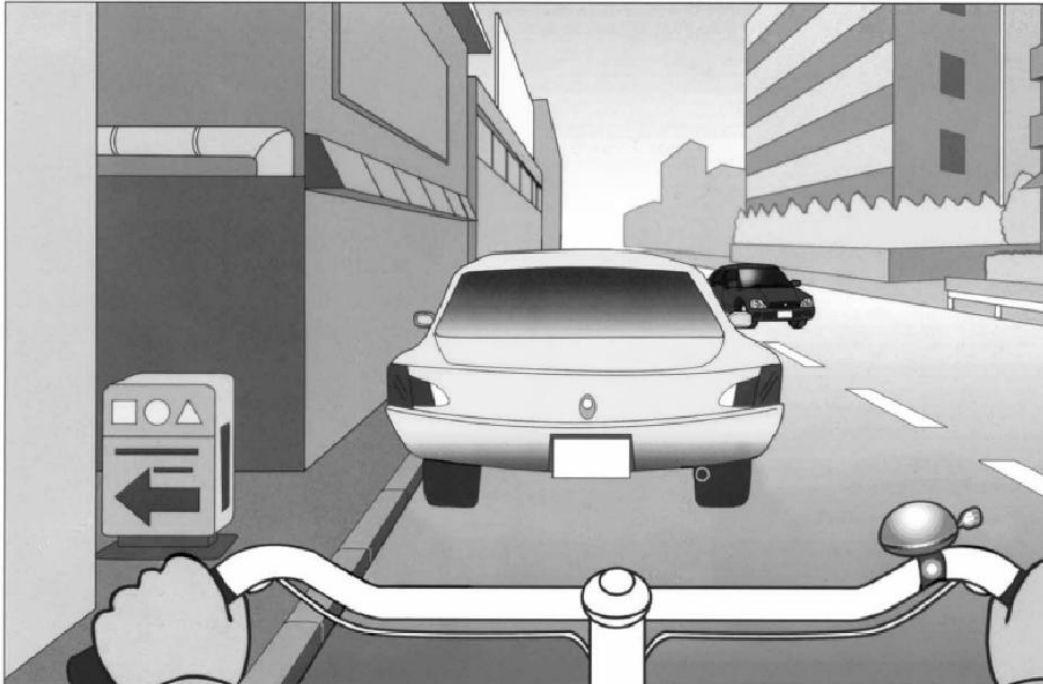
<p>題材名</p>	<p>止まっている車をよけるとき</p>		
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通状況を読み取り、起こりうる危険を予測できるようにする。（対向車 等）</li> <li>・停車車両を避けて通る際の、安全行動を身に付けられるようにする。</li> <li>・交通社会の一員として、周囲へ配慮した自転車の運転ができるようにする。</li> </ul>		
<p>事前の活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査の実施（交通安全についての意識・行動アンケート）</li> <li>・事前調査の集計、分析</li> </ul>		
<p>段階</p>	<p>学習内容・活動内容</p>	<p>指導上の留意事項</p>	<p>資料</p>
<p>はじめ</p>	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 事前調査結果や最近の事故ニュースなどから、感じたことを発表する。</p> <p>2 問題場面を知る。</p> <div data-bbox="296 943 1254 1032" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自転車で止まっている車を追い越そうとしています。 どんな危険がかかれていますか？</p> </div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「交通事故の現状」「事故事例」「アンケート結果」等から交通事故を自分の問題として受け止めさせ、何とかしなくてはならないという意識をもたせる。</li> <li>・身近な交通場面の絵や写真を掲示する。</li> </ul> <div data-bbox="855 1137 1329 1406" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〔場面の読み取り〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車に乗っている。</li> <li>・縁石があつて、歩道に入れない。</li> <li>・左側は狭くて通れなさそう？</li> <li>・右から追い越さないといけない。</li> <li>・車の中の様子は？</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。（どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</li> </ul>	<p>調査結果表</p> <p>場面絵・文部科学省 指導教材「次はどうなる？」</p>
<p>展開</p>	<p>○場面を分析する。</p> <p>3 起こりうる事故を予測する。</p>	<p>T「このまま道路を走っていくと、どんな危険が起こりそうですか。」</p> <div data-bbox="655 1688 1281 1910" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>〔予想される児童の反応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車を右側に避けると、前の赤い車とぶつかる。</li> <li>・車を右側に避けると、後続車とぶつかる。</li> <li>・車の前から人が出てきてぶつかる。</li> <li>・自動車のドアが開いてぶつかってしまう。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通状況から読み取れる危険を、できるだけ多く発表させる。（なぜ危険なのか理由を明らかに）</li> </ul>	<p>ワークシート</p>

	<p>4 事故の理由を考える。</p>	<p>T「どうして事故が起きたのでしょうか。事故の理由を考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の原因には人的要因と環境要因の両方が関わって起こることが多いことを理解させて、児童が事故をどのように避けられるか、考えやすくさせる。</li> </ul>	
展開	<div data-bbox="276 387 798 589" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【人的要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全確認をしない（めんどくさい）</li> <li>・油断（たぶん、大丈夫だろう）</li> <li>・避けようとして大きく対向車線にはみ出てしまう。（運転技術）</li> </ul> </div> <div data-bbox="821 387 1396 589" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p><b>【環境要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・停車車両による死角（対向車・横断者）</li> <li>・縁石のため左側の歩道に入れない。</li> <li>・後続車の危険</li> <li>・停車の目的（降車のためドアが開き衝突）</li> </ul> </div> <div data-bbox="742 593 877 649" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="375 654 1241 797" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車が急に右側に進路変更すると、同様の後続車から追突される。</li> <li>・停車車両の脇を通過中、降車のため急に右側のドアが開き衝突する。</li> <li>・前方の赤い車と逃げ場がなくなり衝突。</li> </ul> </div>	<p>○仮説を設定する。</p> <p>5 危険回避方法（安全行動）を選定する。</p> <p>T「どうしたら危険を防ぐことができますか？ 安全な行動を考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回避方法を考え、理由を明らかにしながら発表させる。</li> <li>・単に「一旦停止する」「安全確認をする」というのではなく、交通場面の特徴等を含め具体的に発表させる。</li> <li>・車で隠れて見えない「潜む危険」についても意識させる。</li> </ul> <div data-bbox="268 1086 611 1153" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>具体的な危険回避方法</p> </div> <div data-bbox="247 1142 1337 1429" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「しっかり見る」 → 道路中央に出る前に、前方・後方の安全確認。（停止・降車）</p> <p>「しっかり見せる」 → 後続車両がある場合は一時停止、やりすごす意志を示す。</p> <p>「相手からの視点」 → 対向車からは、自分が見えない。出て来ると思わない。</p> <p>「安全のための行動」 → 停車車両の様子に気を配り、対向車・後続車の確認をしてから側方を徐行することが大切。</p> <p style="text-align: center;">より安全な行動としては自転車を停車降車して安全確認。</p> </div>	ワークシート
	<p>○仮説を検証する。</p> <p>6 選定した危険回避方法（安全行動）を検証する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの行動基準とその有効性を検討する。</li> <li>・班別のまとめを発表し合い、理解を深めさせる。</li> <li>・発表された危険回避方法が具体的かどうか、意見を出し合って確認させる。（模擬的な検証）</li> <li>・重要な安全行動が児童から出ない場合には、必ず教師が補足する。</li> </ul>	
	まとめ	<p>○安全行動を適用する。</p> <p>7 安全行動を実践化できるようにする。</p>	
事後の活動	<p>○めあてを教室に掲示し、交通安全への意識化を図る。</p> <p>○めあてをもとに、自分の生活についてふり返り、安全に自転車を走行しようとする意欲を高める。</p> <p>○家庭でも話し合いをし、家族の交通安全についても考えさせる。</p>		

# 「止まっている車をよけるとき」ワークシート

名前 \_\_\_\_\_

- 1 自てん車で、止まっている車を追いこそうとしています。  
どんなきけんがかかれていますか？（○をつけて、ことばで書きこみましょう）

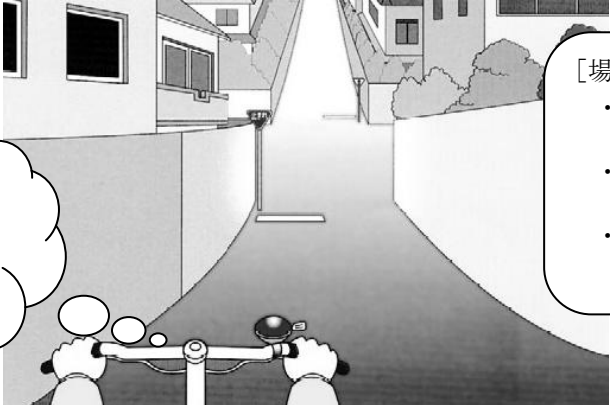


（文部科学省 指導教材「次はどうなる？」より）

- 2 どうしたら、きけんをふせぐことができますか？

- 3 止まっている車を安全に追いこすための「めあて」を考えましょう。

④小学校中学年 特別活動（1時間扱い）

題材名	自てん車で下り坂を走るとき		
ねらい	・飛び出しの危険性を理解し、下り坂で安全に自転車の走行ができるようにする。		
事前の活動	・事前調査の実施（交通安全についての意識・行動アンケート） ・事前調査の集計、分析		
段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点	資料
はじめ	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 事前調査結果や最近の事故のニュースなどから、感じたことを発表する。</p> <p>2 問題場面を知る。</p> <div data-bbox="331 902 1230 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                 下の坂道を走って、友達の家遊びに行くところです。どんな危険がかかれていますか。             </div> <div data-bbox="153 1153 464 1391" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;">                 坂道でスピードアップだ。早く友達の家で遊びたいな。             </div> 	<p>・「交通安全の現状」「事故事例」「アンケート結果」等から交通事故を自分の問題として受け止めさせ、何とかしてはならないという意識をもたせる。</p> <p>・事前調査の結果を知らせ、自転車走行時の危険について知らせる。</p> <p>・身近な交通場面の絵や写真を掲示する。</p> <div data-bbox="938 1048 1364 1328" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">                 [場面の読み取り]                  ・下り坂を自転車で走っている(スピードが出ている)                  ・前方に交差点があるが、高い塀で見通しが悪い。                  ・交差点の手前に止まれの標識がある。             </div> <p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。(どんな意見も受け入れる雰囲気作り)</p>	<p>調査結果表</p> <p>場面絵</p> <p>文部科学省 指導教材「次はどうなる？」</p>
展開	<p>○場面を分析する。</p> <p>3 起こりうる事故を予測する。</p>	<p>T「このまま自転車で走っていくと、どんな危険が起こりそうですか。」</p> <div data-bbox="531 1648 1302 1917" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">                 [予想される児童の反応]                  ・交差点の壁で見えない左右の道から自動車、バイク、自転車や歩行者が飛び出してきて接触する。                  ・スピードの出し過ぎによって転倒する。                  ・交差点で、後方から来た左折車に巻き込まれる。                  ・後方から来る自動車やバイクと接触する。             </div> <p>・交通状況から読み取れる危険を、できるだけ多く発表させる。(なぜ危険なのか理由を明らかに)</p>	ワークシート

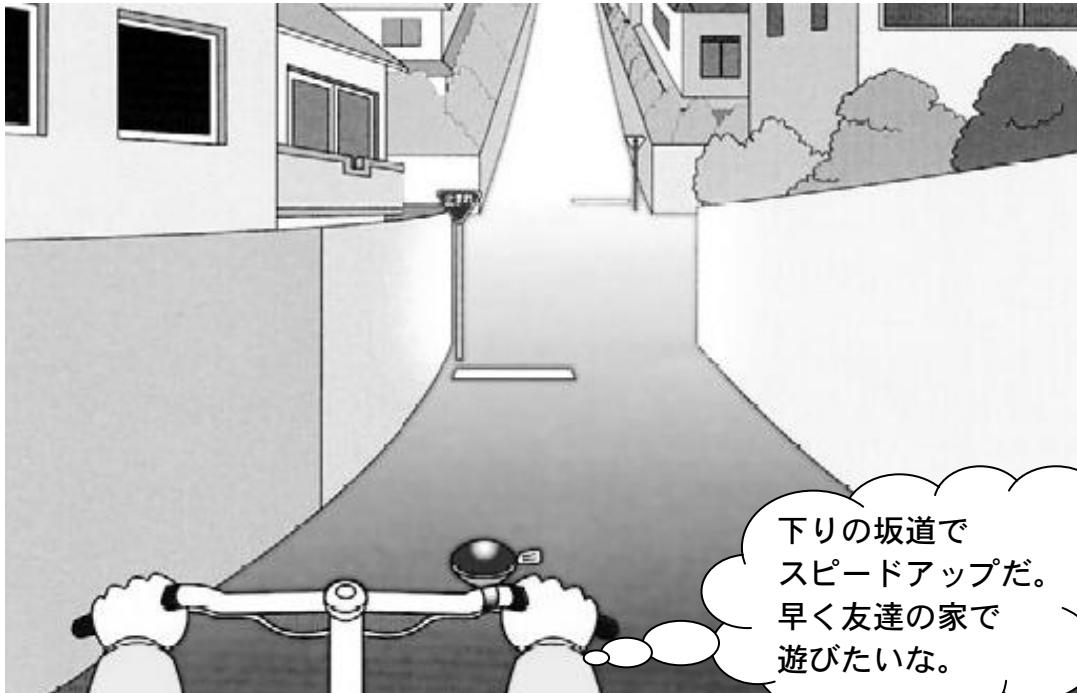
	<p>4 事故の理由を考える</p>	<p>T「どうして事故が起きたのでしょうか。事故の理由を考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の原因には人的要因と環境要因の両方が関わって起こることが多いことを理解させて、児童が事故をどのように避けられるか、考えやすくさせる。</li> </ul>	
展開	<p>○仮説を設定する。 5 危険回避方法（安全行動）を選定する。</p>	<p>T「どうしたら危険を防ぐことができますか。安全な行動を考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回避方法を考え、理由を明らかにしながら発表させる。</li> <li>・単に「一時停止をする」「安全確認をする」というのではなく、交通場面の特徴や死角での動き等を含め、具体的に発表させる。</li> </ul>	ワークシート
	<p>○仮説を検証する。 6 選定した危険回避方法（安全行動）を検証する。</p> <div data-bbox="240 1518 568 1709" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの行動規準とその有効性を検討する。</li> <li>・班別のまとめを発表しあい、理解を深めさせる。</li> <li>・発表された危険回避方法が具体的かどうか、意見を出し合って確認させる。（模擬的な検証）</li> <li>・自転車＝車両であり、減速や一時停止、安全確認などの行動の大切さを認識させる。</li> <li>・俯瞰図（左図）を用いて検証する。</li> </ul>	
まとめ	<p>○安全行動を適応する。 7 安全行動を実践化できるようにする。</p>	<p>T「自転車で下りの坂道を安全に走行するためのめあてを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことをもとにして、交通安全の自分のめあてを持ち、各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</li> </ul>	
事後の活動	<p>○めあてを教室に掲示し、交通安全への意識化を図る。 ○めあてをもとに自分の生活についてふり返り、安全な行動をしようとする意欲を高める。 ○家庭でも話し合いをし、家族の交通安全についても考えさせる。</p>		

# 「自てん車で下り坂を走るとき」ワークシート

名 前

---

- 1 下りの坂道を走って、友達の家遊びに行くところです。  
どんなきけんがかかれていますか？（○をつけて、ことばで書きこみましょう）



（文部科学省 指導教材「次はどうなる？」より）


- 2 どうしたら、きけんをふせぐことができますか？

- 3 自てん車で下りの坂道を安全に走るための「めあて」を考えましょう。

⑤小学校高学年 特別活動（1時間扱い）

題材名	曲がった道路を走る時		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・右側通行の大切さを理解し、実行する意欲と態度を育てる。</li> <li>・潜在的な危険を読み、自転車の安全な運転ができるようにする。</li> </ul>		
事前の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査の実施（交通安全についての意識・行動アンケート）</li> <li>・事前調査の集計、分析</li> </ul>		
段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点	資料
はじめ	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 事前調査結果や最近の事故のニュースなどから、感じたことを発表する。</p> <p>2 問題場面を知る。</p> <div data-bbox="341 904 1241 987" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>前がよく見えない曲がった道を、自転車で走っています。どんな危険がかかれていますか。</p> </div>  <div data-bbox="895 1043 1350 1440" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〔場面の読み取り〕</p> <p>環境面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が右に曲がっている</li> <li>・カーブのため前方が見にくい</li> <li>・周囲に車が走行していない</li> <li>・自転車が右側通行している</li> </ul> <p>心理面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲に車がないため、安心した気持ちで運転</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「交通安全の現状」「事故事例」「アンケート結果」等から交通事故を自分の問題として受け止めさせ、何とかしてはならないという意識をもたせる。</li> <li>・身近な交通場面の絵や写真を掲示する。</li> </ul> <p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。（どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</p>	<p>調査結果表</p> <p>場面絵…文部科学省 指導教材「次はどうなる？」</p>
展開	<p>○場面を分析する。</p> <p>3 起こりうる事故を予測する。</p>	<p>T「このまま道路を走っていくと、どんな危険が起こりそうですか。」</p> <div data-bbox="619 1675 1337 1895" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〔予想される児童の反応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右側通行している。</li> <li>・道路の先が見えない。</li> <li>・車（自転車・歩行者）がいるかもしれない。</li> <li>・向こうからくる車（自転車・歩行者）にぶつかる。</li> </ul> </div> <p>・交通状況から読みとれる危険を、できるだけ多く発表させる。（なぜ危険なのか理由を明らかに）</p> <p>・児童自身が加害者になることにも目を向けさせる。</p>	ワークシート



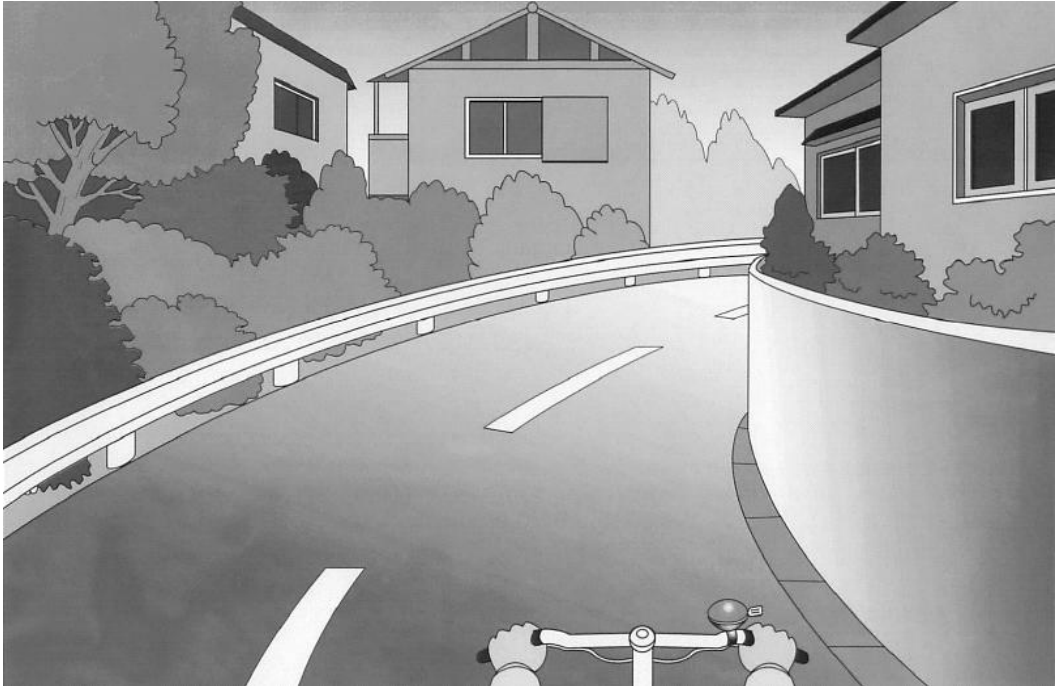
	<p>4 事故の理由を考 える。</p>	<p>T「どうして事故が起きたのでしょうか。事故の理由を考え ましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の原因には人的要因と環境要因の両方が関わって起 こることが多いことを理解させて、児童が事故をど のように避けられるか、考えやすくさせる。</li> <li>・見えないところの危険や右側通行をしていた。</li> <li>・「急いでいた」などの心理面にもふれる。</li> </ul>	
	<p><b>【人的要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が右に曲がっており、前方が見えにくい ことに気づいていない。</li> <li>・見えないところに自動車や自転車・歩行者が いるかもしれないことを意識していない</li> <li>・急いでいる。</li> <li>・周囲に車がないため、安心しきっている。</li> </ul>	<p><b>【環境要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が右にカーブしている。</li> <li>・前方が見えにくい。</li> <li>・通行が少ない。</li> </ul>	
<p>展 開</p>			
	<p>○仮説を設定する。 5 危険回避方法（安全 行動）を選定する。</p>	<p>T「どうしたら危険を防ぐことができますか。安全な行動を 考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前方を注意する。</li> <li>・右側を走る。</li> <li>・スピードを出しすぎない。</li> <li>・回避方法を考え、理由を明らかにしながら発表させる。</li> <li>・前方に潜む危険について常に意識させ、左側通行や 交通ルールを守るなど具体的に話し合わせる。</li> </ul>	<p>ワ ー ク シ ー ト</p>
	<p><b>具体的な危険回避方法</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車で道路を通行するときは、常に交通ルールを守る。</li> <li>・曲がった道路を走るときは、見えないところにある危険について予測し通行する。</li> </ul>	
	<p>○仮説を検証する。 6 選定した危険回避方 法（安全行動）を検 証する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの行動規準とその有効性を検討する。</li> <li>・班別のまとめを発表し合い、理解を深めさせる。</li> <li>・発表された危機回避方法が具体的かどうか、意見を出し 合って確認させる。（模擬的な検証）</li> <li>・歩行者の視点、加害者になる可能性も気づかせる。</li> </ul>	
<p>ま と め</p>	<p>○安全行動を適応する。 7 安全行動を実践化で きるようにする。</p>	<p>T「前がよく見えない曲がった道を安全に走るためのめあ てを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことをもとにして、交通安全の自分のめあて を持ち、各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</li> </ul>	
<p>事 後 の 活 動</p>	<p>○めあてを教室に掲示し、交通安全への意識化を図る。 ○めあてをもとに、自分の生活についてふり返り、安全に自転車走行をしようとする意欲を高める ○家庭でも話し合いをし、家族の交通安全についても考えさせる。</p>		

# 「曲がった道路を走る時」ワークシート

名前

---

- 1 前がよく見えないまがった道を、自てん車で走っています。  
どんなきけんがかくれていますか？（○をつけて、ことばで書きこみましょう）





（文部科学省 指導教材「次はどうなる？」より）

- 2 どうしたら、きけんをふせぐことができますか？

- 3 前がよく見えない曲がった道を安全に走るための「めあて」を考えましょう。

⑥小学校高学年 特別活動（1時間扱い）

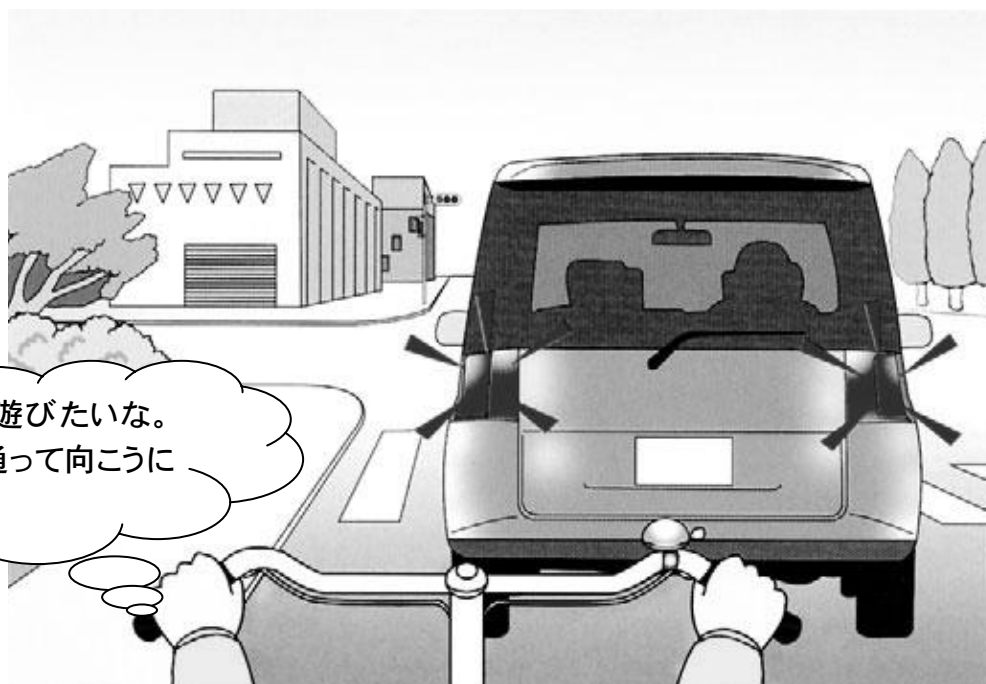
<p>題材名</p>	<p>減速した車の左側を追い抜くとき</p>		
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通状況を読み取り、起こりうる危険を予測できるようにする。（巻き込み等）</li> <li>・減速車両後方における、自転車の適切な運転方法を身につけられるようにする。</li> <li>・交通社会の一員として、歩行者等への思いやりのある運転ができるようにする。</li> </ul>		
<p>事前の活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査の実施（交通安全についての意識・行動アンケート）</li> <li>・事前調査の集計、分析</li> </ul>		
<p>段階</p>	<p>学習内容・学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>	<p>資料</p>
<p>はじめ</p>	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 事前調査結果や最近の事故のニュースなどから、感じたことを発表する。</p> <p>2 問題場面を知る。</p>	<p>・「交通安全の現状」「事故事例」「アンケート結果」等から交通事故を自分の問題として受け止めさせ、何とかしなくてはならないという意識をもたせる。</p> <p>・身近な交通場面の絵や写真を掲示する。</p> <div data-bbox="343 929 1332 1030" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>交差点を直進しようとしていたら、前の自動車がスピードを落としました。どんな危険がありますか。</p> </div>  <p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。（どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</p>	<p>調査結果表</p> <p>場面絵…文部科学省 指導教材「次はどうなる？」</p>
<p>展開</p>	<p>○場面を分析する。</p> <p>3 起こりうる事故を予測する。</p>	<p>T「このまま道路を走っていくと、どんな危険が起こりそうですか。」</p> <div data-bbox="614 1736 1332 1960" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>〔予想される児童の反応〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減速した自動車に追突する。</li> <li>・自転車が直進したところを自動車が左折して衝突する。</li> <li>・自動車の奥に対向車がいる、右折してきて衝突する。</li> <li>・自動車の奥から歩行者が出てきて衝突する。</li> <li>・自動車のドアが開いてぶつかってしまう。</li> </ul> </div> <p>・交通状況から読み取れる危険を、できるだけ多く発表させる。（なぜ危険なのか理由を明らかに）</p>	<p>ワークシート</p>

	<p>4 事故の理由を考える。</p>	<p>T「どうして事故が起きたのでしょうか。事故の理由を考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の原因には人的要因と環境要因の両方が関わって起こることが多いことを理解させて、児童が事故をどのように避けられるか、考えやすくさせる。</li> </ul>	
	<p><b>【人的要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急いでいる。</li> <li>・遊ぶことを考えている。</li> <li>・自動車の先に歩行者や対向車がいるかもしれないことに気づいていない。</li> <li>・自動車の運転手にとって自転車は死角に入っている可能性がある。</li> </ul>	<p><b>【環境要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道幅の広い交差点である。</li> <li>・横に伸びる横断歩道はあるが直進方向の横断歩道はない。</li> <li>・自転車でも簡単に入れる歩道がある。</li> <li>・自転車にとって自動車の奥が死角になっている。</li> </ul>	
展			
開	<p>○仮説を設定する。</p> <p>5 危険回避方法（安全行動）を選定する。</p>	<p>T「どうすれば危険を防ぐことができますか。安全な行動を考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回避方法を考え、理由を明らかにしながら発表させる。</li> <li>・単に「一時停止をする」「安全確認する」というのではなく、交通場面の特徴・死角での動き等を含め、具体的に発表させる。</li> </ul>	ワークシート
	<p><b>具体的な危険回避方法</b></p> <p>「しっかり見る」 → 自動車の減速・停止は、左折の他に歩行者や対向車など何らかのサインであるため、よく周囲を確認する。</p> <p>「しっかり見せる」 → 死角があることを知り、自動車の運転手が気づいていないことを念頭に置いて、自分の存在を知らせる。</p> <p>「相手からの視点」→ 自動車が止まってくれたと安心し、歩行者や対向車が自転車に気づかないことがあるため、徐行や一時停止で確認・知らせる。</p> <p>「安全のための行動」→ 自動車が減速・停止したら必ず徐行・一時停止する。</p>		
	<p>○仮説を検証する。</p> <p>6 選定した危険回避方法（安全行動）を検証する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの行動規準とその有効性を検討する。</li> <li>・班別のまとめを発表し合い、理解を深めさせる。</li> <li>・発表された危機回避方法が具体的かどうか、意見を出し合って確認させる。（模擬的な検証）</li> <li>・歩行者の視点、加害者になる可能性も気づかせる。</li> </ul>	
ま と め	<p>○安全行動を適応する。</p> <p>7 安全行動を実践化できるようにする。</p>	<p>T「自転車で交差点をわたるとき、安全に自動車を追い抜くためのめあてを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことをもとにして、交通安全の自分のめあてを持ち、各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</li> </ul>	
事後 の 活動	<p>○めあてを教室に掲示し、交通安全への意識化を図る</p> <p>○めあてをもとに、自分の生活についてふり返り、安全に自転車走行をしようとする意欲を高める</p> <p>○家庭でも話し合いをし、家族の交通安全についても考えさせる</p>		

# 「減速した車の左側を追い抜くとき」ワークシート

名 前

---



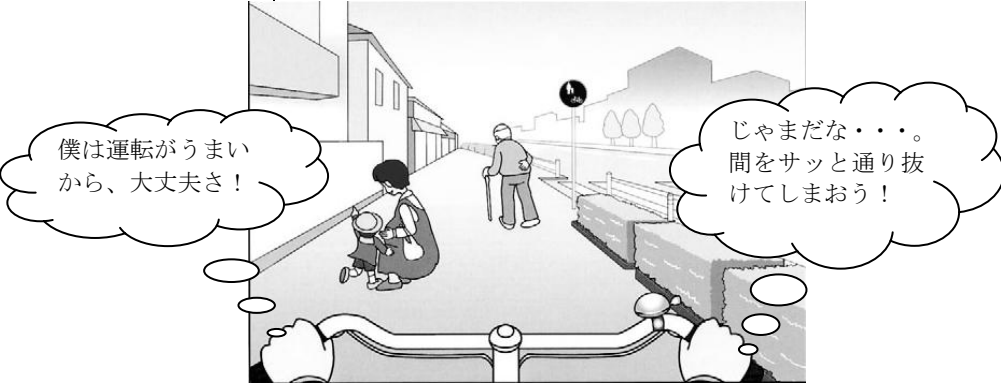
(文部科学省 指導教材「次はどうなる？」より)


- 1 交差点を直進しようとしていたら、前の自動車がスピードを落としました。どんな危険がありますか？

- 2 どうすれば危険を防ぐことができますか？

- 3 自転車で交差点をわたるとき、安全に自動車を追い抜くための「めあて」を考えましょう。

⑦小学校高学年 特別活動（1時間扱い）

<p>題材名</p>	<p>自転車で歩道を走行すると？</p>		
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車で通行可能な歩道を走行する際、当然歩行者のためのものであることを理解する。</li> <li>・ガードレール等で区切られていて、歩行者等を避けるスペースが少ない等の危険を予測して状況に応じた安全な走行ができる。</li> </ul>		
<p>事前の活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前調査の実施（交通安全についての意識・行動アンケート）</li> <li>・事前調査の集計、分析</li> </ul>		
<p>段階</p>	<p>学習内容・学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>	<p>資料</p>
<p>はじめ</p>	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 事前調査結果や最近の事故のニュースなどから感じたことを発表する。</p> <p>2 問題場面を知る</p>	<p>・「交通安全の現状」「事故事例」「アンケート結果」等から交通事故を自分の問題として受け止めさせ、何とかしなくてはならないという意識をもたせる。</p> <p>・身近な交通場面の絵や写真を掲示する。</p> <div data-bbox="331 907 1308 1003" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「自転車通行可」の歩道を走行しています。前には幼児を連れのお母さんとお年寄りがあります。どんな危険が予想できますか？</p> </div> 	<p>調査単表</p> <p>場見録</p> <p>文部科学省資料「次はどつなろう」</p>
<p>展開</p>	<p>○場面を分析する。</p> <p>3 起こりうる事故を予測する。</p>	<p>T「このまま道路を走っていくと、どんな危険が起こりそうですか。」</p> <div data-bbox="284 1556 1316 1814" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>[予想される児童の反応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小さな子が急に目の前にとび出してきたぶつかる。</li> <li>・お母さんがあわてていて、子どもを抱きかかえ、急に目の前に出てきてぶつかる。</li> <li>・お年寄りの方がよろけて、自転車の前に出てきてぶつかる。</li> <li>・親子とお年寄りて歩道がふさがれてしまい、避けようとして右側の花壇とぶつかってしまう。</li> </ul> </div> <p>・交通状況から読み取れる危険を、できるだけ多く発表させる（なぜ危険なのか理由を明らかに）</p> <p>・個人→グループ→全体という話し合い活動を持つ。</p> <p>・お年寄りと親子両方が複合して起こる問題等も考えられるよう補助発問する。</p> <p>・場面人物の心理状態なども注目させる。</p>	<p>ワークシート</p>

展 開	4 事故の理由を考える。	<p>T「どうして事故が起きたのでしょうか？事故の原因を考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の原因には人的要因と環境要因の両方が係わって起こることが多いことを理解させて、児童が事故をどのように避けられるか、考えやすくさせる。</li> <li>・特に人物の心理的な要因や置かれている状況等にも注目させ、事故が起こる場合の対象者のことも考えられるようにさせる。(子どもがはしゃいでいる、お年寄りの方は音を聞き取りづらいなど)</li> </ul>	ワ ー ク シ ー ト
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【人的要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前をよく見て走行していない。</li> <li>・急いでいる。</li> <li>・お年寄りの方や親子が自転車に気付いていない。</li> <li>・お年寄りの方や親子でふさがれてしまう。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>【環境要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車が走行できる歩道である。</li> <li>・歩道なので幅が狭い。</li> <li>・花壇があり、さらに幅が狭くなっている。</li> <li>・横断歩道がある。</li> <li>・住宅が建ち並んでいる。</li> </ul> </div> </div>		
			
	○仮説を設定する。 5 危険回避方法（安全行動）を選定する	<p>T「どうすれば危険を防ぐことができますか。安全な行動を考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表された危険は、どのようにしたら避けられるかについて考えを発表させる。</li> <li>・なぜ事故を回避できるのか理由も一緒に発表させる。</li> </ul>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>具体的な危険回避方法</b></p> <p>「しっかり見る」 → お年寄りや子ども連れの方へ近づく前に、状況や回りの障害物の確認。</p> <p>「しっかり見せる」 → 近づく前に、ベル等で自転車の通行を知らせる。</p> <p>「相手からの視点」 → 後方からの自転車には気付いていない、見えていない。</p> <p>「安全のための行動」 → 前方のお年寄りや子ども連れの方に気を配ると共に、後方からの自転車に注意しながら側方を徐行する、又は降車して自転車を押せばより安全である。</p> </div>		
	○仮説を検証する。 6 選定した危険回避方法（安全行動）を検証する。	<p>T「実際にどの方法で事故を防げるか話し合ってみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境要因を評価して安全を生み出すものが自分（たち）の行動であることを振り返りながら、6で考えた方法の的確さを確かめさせる。</li> <li>・グループで協議させ、より考えを深めさせる。</li> </ul>	
ま と め	○安全行動を適応する。 7 安全行動を実践化できるようにする。	<p>T「自転車で歩道を安全に走行するためのめあてを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことをもとにして、交通安全の自分のめあてを持ち、各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</li> </ul>	
事 後 の 活 動	<p>○めあてを教室内に掲示し、交通安全への意識化を図る。</p> <p>○めあてをもとに、自分の生活についてふり返り、自転車を安全に走行しようとする意欲を高める。</p> <p>○家庭でも話し合いをし、家族の交通安全についても考えさせる。</p>		

# 「自転車で歩道を走行すると？」ワークシート

## 名前

---



じゃまだな……。  
間をサッと通り抜  
けてしまおう！  
僕は運転がうまい  
から大丈夫さ！

(文部科学省 指導教材「次はどうなる？」より)

- 1 「自転車通行可」の歩道を走行しています。前には幼児を連れたお母さんとお年寄りがいます。どんな危険がありますか？

- 2 どうすれば危険を防ぐことができますか？

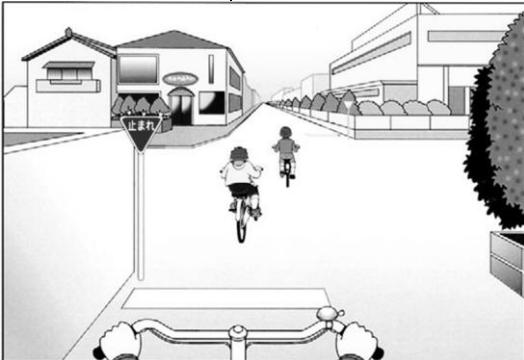
- 3 自転車で歩道を安全に走行するための「めあて」を考えましょう。



# 指導案

(短時間扱い)

①小学校低学年 特別活動（短時間扱い）

題材名	とびだしをしたら！		
ねらい	・飛び出しによる事故の怖さを理解し、飛び出しをしないで安全に自転車に乗ることができる。		
段階	学習内容	指導上の留意点	資料
はじめ	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 問題場面を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>じてんしゃで、とびだしをしたら、どんなあぶないことがありますか？</p> </div> 	<p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。 (どんな意見も受け入れる雰囲気作り)</p> <p>○見つけられたものを発表していく中で、交通安全に関するポイントに視点をあてていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「止まれ」の標識、道路標示</li> <li>・十字路 ・駐車場 ・カーブ 等</li> </ul> <p>○できるだけ大きく、見やすい、場面資料を提示したい。PCとプロジェクターを利用する。</p>	<p>場面絵…文部科学省 指導教材「次はどうなる？」</p>
展開	<p>○場面を分析する。</p> <p>2 起こりうる事故を予測する。</p> <p>3 交差点での正しい運転行動について話し合う。</p>	<p>T 「どんな危険が起こりそうですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の見えない場所から、車や自転車、歩行者とぶつかる危険があることを考えさせる。</li> </ul> <p>T 「どうしたら交差点を安全に走れるでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想される「止まって、左右の安全確認をする」という児童の反応に、「なぜ止まる必要があるのか」を考えさせる補助発問を行う。その中で次の3点について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①左右が見えず、車や自転車、歩行者が来るかもしれないこと。</li> <li>②事故にあってしまったら、自分も大変、周囲の人も悲しむこと。</li> <li>③「止まれ」の標識や道路標示があるところでは、車も自転車も、歩行者も、必ず止まらなければいけないこと。</li> </ul> </li> </ul>	<p>ワークシート</p>
まとめ	<p>○安全行動を適用する</p> <p>4 安全行動を実践化できるようにする。</p>	<p>T 「安全に走るためのめあてを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「止まれ」の標識がある交差点ではもちろん、標識がない交差点でも、必ず止まって、安全を確かめる約束をする。</li> <li>・指導絵図も、できるだけ大きく、見やすく、提示する。PCとプロジェクターを利用する。</li> </ul>	

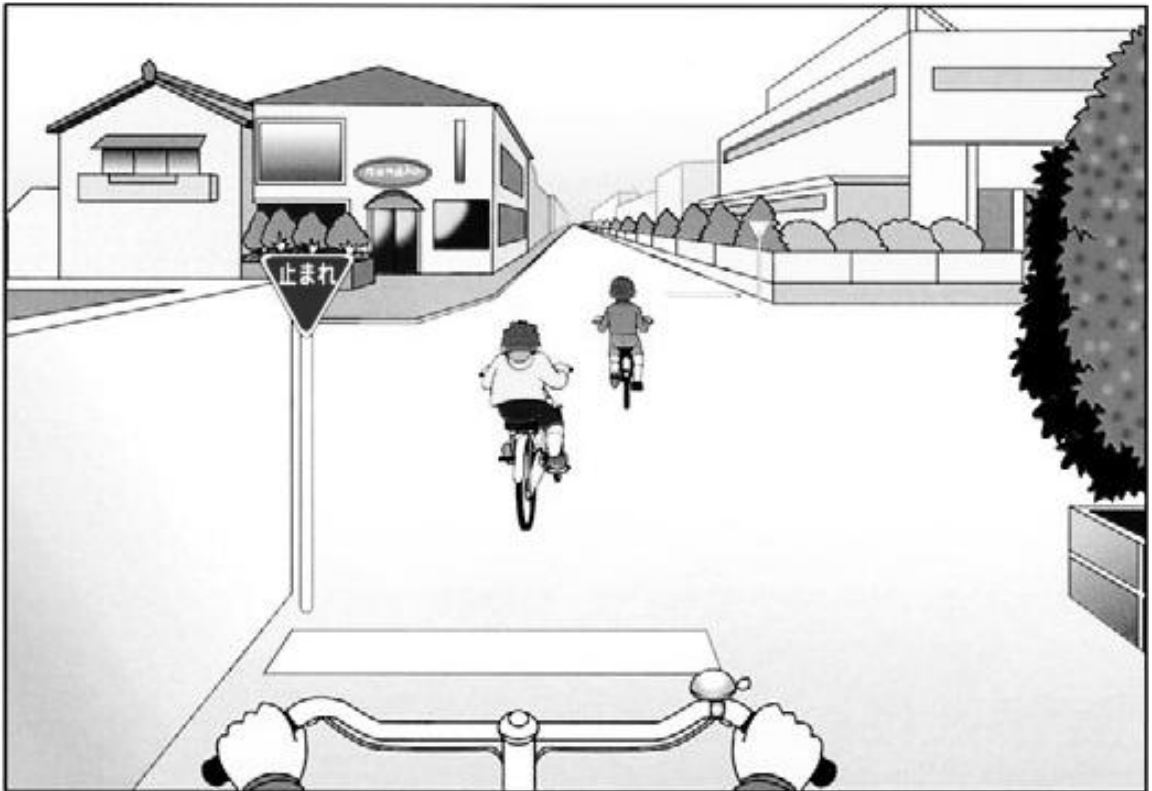
# 「とびだしをしたら！」ワークシート

なまえ

---

1 じてんしゃで とびだしをしたら どんな あぶないこと がありますか？


(○をつけましょう。)



(文部科学省 指導教材「次はどうなる？」より)

2 あんぜんにはしるための、「めあて」をかながえましょう。

②小学校低学年 特別活動（短時間扱い）

題材名	<p>こうつうルール②-1 ほこう</p>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通法規（ルール）の意義が理解できるようにする。</li> <li>・歩行における、危険を予測することができるようにする。</li> <li>・交通社会の一員として、他者を尊重したマナーのある行動ができるようにする。</li> </ul>		
段階	学習内容・活動内容	指導上の留意事項	資料
はじめ	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 問題場面を知る。</p> <div data-bbox="323 589 1147 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>道路を歩いている絵があります。どんな危険がありますか？</p> </div> <div data-bbox="300 667 742 1019" style="text-align: center;">  </div>	<p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。 （どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の真ん中を歩いている。</li> <li>・ふざけあっている。</li> <li>・後ろから車が来ている。</li> </ul>	場面絵
展開	<p>○場면을分析する。</p> <p>2 起こりうる事故を予測する。</p> <p>3 「道路を安全に歩く方法」について話し合う。</p>	<p>T 「どんな危険が起こりそうですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通状況から読み取れる危険を、できるだけ多く発表させる。 （なぜ危険なのか理由を明らかに）</li> </ul> <p>T 「どんな歩き方をすれば安全ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歩く場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・右側通行</li> <li>・歩道のあるところは歩道内</li> </ul> </li> <li>○歩き方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一列歩行</li> <li>・前を見て歩く</li> <li>・通学路（登下校時）</li> </ul> </li> <li>○道路を渡る場所 <ul style="list-style-type: none"> <li>・信号、横断歩道、歩道橋 等</li> </ul> </li> <li>○標識 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「止まれ」「横断歩道」等</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時、踏切 等</li> </ul> </li> </ul> <div data-bbox="300 1731 1313 1792" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「もしかして…」という危険予測の意識、「一時停止」「左右確認」の徹底</p> </div>	ワークシート
まとめ	<p>○安全行動を適用する。</p> <p>4 安全行動を実践化できるようにする。</p>	<p>T 「安全に道路を歩くためのめあてを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</li> <li>・児童から出ない安全行動は、教師が補足をする。</li> </ul>	

# 「こうつうルール ほこう」ワークシート

なまえ

---

1 どうろを あるいています。どんな あぶないことがありますか？


(○をつけましょう。)



2 あんぜんにあるくための、「めあて」をかながえましょう。

A large, empty rounded rectangular box for writing answers.

②小学校低学年 特別活動（短時間扱い）

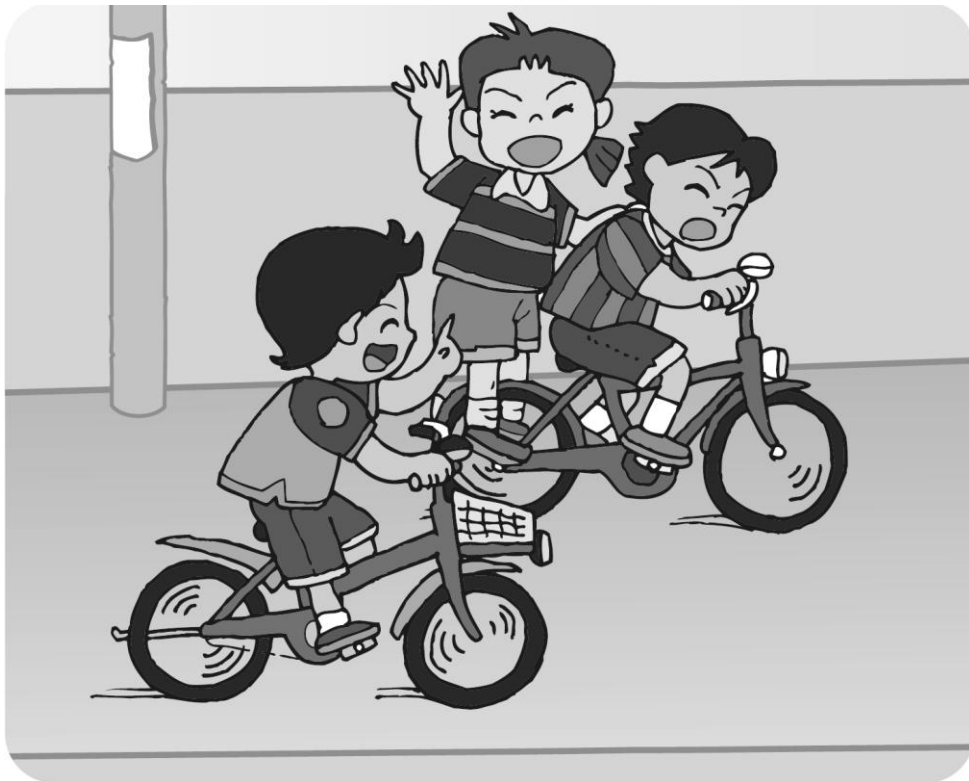
題材名	<p>交通ルール・マナー ②-2 じてんしゃ</p>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通法規（ルール）の意義が理解できるようにする。</li> <li>・自転車乗用における、危険を予測することができるようにする。</li> <li>・交通社会の一員として、他者を尊重したマナーのある行動ができるようにする。</li> </ul>		
段階	学習内容・活動内容	指導上の留意事項	資料
はじめ	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 問題場面を知る。</p> <div data-bbox="320 600 1203 656" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     自転車に乗っている絵があります。どんな危険がありますか？                 </div> <div data-bbox="336 685 719 987" style="text-align: center;">  </div>	<p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。 （どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の真ん中を走行している。</li> <li>・ふざけあっている。</li> <li>・ヘルメットをかぶっていない。</li> </ul>	場面絵
展開	<p>○場면을分析する。</p> <p>2 起こりうる事故を予測する。</p> <p>3 「自転車を安全に乗るための方法」について話し合う。</p>	<p>T 「どんな危険が起こりそうですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通状況から読み取れる危険を、できるだけ多く発表させる。 （なぜ危険なのか理由を明らかに）</li> </ul> <p>T 「どんな自転車の乗り方をすれば安全ですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○走る場所                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・左側通行（車道の左側） ※小学生は歩道走行可</li> </ul> </li> <li>○走り方                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・並走禁止 ・2人乗り禁止 ・傘差し運転禁止 ・無灯火禁止</li> </ul> </li> <li>○乗り方、自転車点検                         <ul style="list-style-type: none"> <li>・左側から乗る、後方確認 ・体格に合ったもの（両足がつく）</li> <li>・「ブタベルサハラ」 （ブレーキ・タイヤ・ベル・サドル・ハンドルと反射器・ライト）</li> <li>・ヘルメット着用</li> </ul> </li> <li>○歩行者への配慮、加害の危険性</li> </ul> <div data-bbox="292 1688 1305 1749" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     「もしかして…」という危険予測の意識、「一時停止」「左右確認」の徹底                 </div>	ワークシート
まとめ	<p>○安全行動を適用する。</p> <p>4 安全行動を実践化できるようにする。</p>	<p>T 「安全に自転車に乗るためのめあてを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</li> <li>・児童から出ない安全行動は、教師が補足をする。</li> </ul>	

# 「こうつうルール じてんしゃ」ワークシート

なまえ

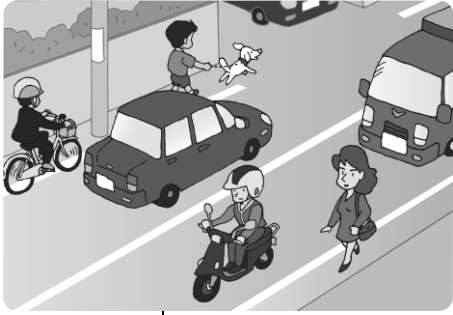
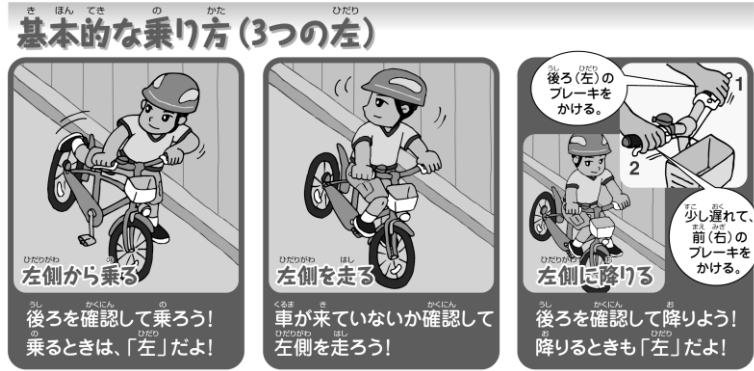
---

- 1 どうろで じてんしゃに のっています。どんな あぶないことが  
ありますか？（○をつけましょう。）



- 2 あんぜんに のるための、「めあて」をかながえましょう。

③小学校低学年 特別活動（短時間扱い）

<p>題材名</p>	<p>じてんしゃにのるとき</p>		
<p>ねらい</p>	<p>・自転車に乗るときの安全な場所を知り、自転車の正しい発進・停止ができるようにする。 ・安全に自転車に乗ろうとする意欲を持つことができる。</p>		
<p>段階</p>	<p>学習内容・学習活動</p>	<p>指導上の留意点</p>	<p>資料</p>
<p>はじめ</p>	<p>○問題を把握する。 1 問題場面を知る。</p>	<p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。 (どんな意見も受け入れる雰囲気作り)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>道路で自転車に乗るときに、どんな危ないことがありますか？</p> </div>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車が多く走っている。</li> <li>・バイクが走っている。</li> <li>・歩行者がいる。</li> <li>・道路が狭い</li> <li>・電信柱がある。</li> </ul>	<p>場面絵</p>
<p>展開</p>	<p>○場面を分析する。 2 起こりうる事故を予測する。 3 自転車に乗るために安全な場所について話し合う。 4 正しい発進・停止の仕方を知る。</p>	<p>T「どんな危険が起こりそうですか。」 ・道路には多くの危険があり、安全な走行のための技能や知識がまだ十分に身に付いていないことに気づかせる。</p> <p>T「自転車に乗るには、どんな場所が安全ですか。」 ・低学年という発達段階から、自転車に乗る場所として、広場・公園・人通りの少ない道路などの安全な場所が望ましいことを考えさせる。 ・道路では大人と一緒に乗り、安全な場所までは自転車を押していくようにさせる。</p> <p>T「自転車の正しい乗り方、降り方について考えましょう。」 ・前後の確認をし、左側から乗り降りするように心がけるようにさせる。</p> 	<p>ワークシート</p> <p>正しい発進・停止の仕方の図</p>
<p>まとめ</p>	<p>○安全行動を適用する 5 安全行動を実践化できるようにする</p>	<p>T「自転車を安全に乗るためのめあてを考えましょう。」 ・各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</p>	

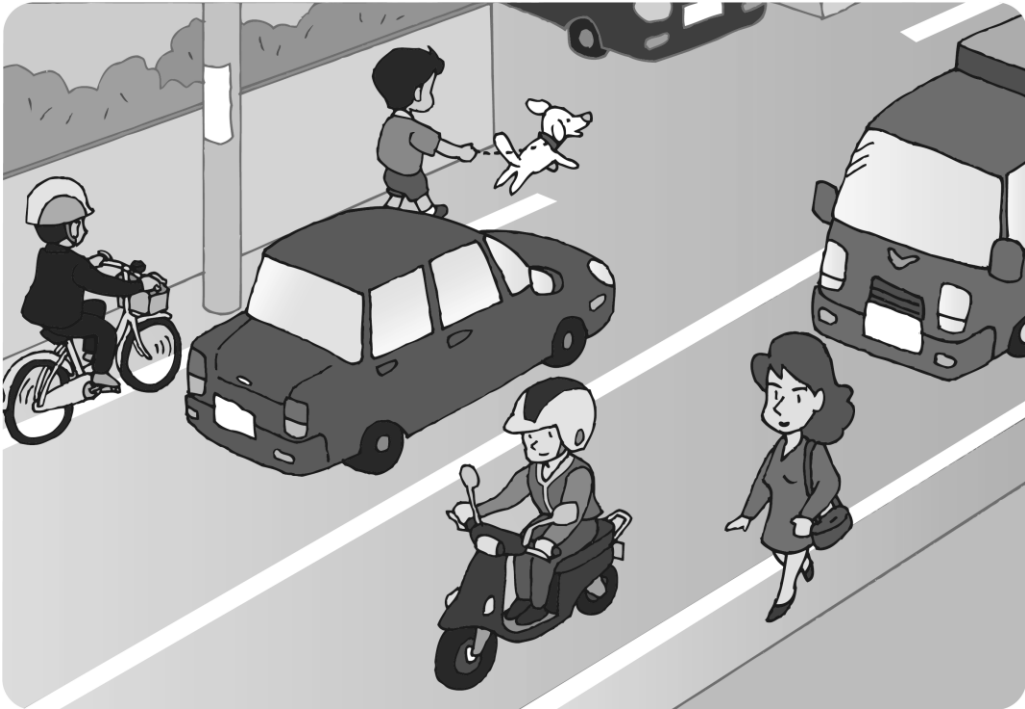


# 「じてんしゃにのるとき」ワークシート

なまえ

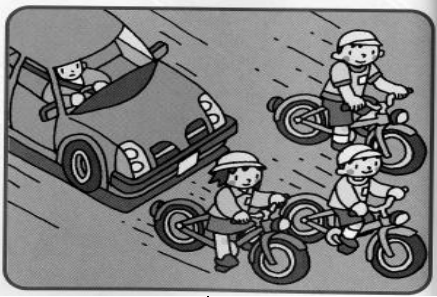

---

- 1 どうろで じてんしゃに のるとき どんな あぶないことがありますか？  
(○をつけましょう。)



- 2 じてんしゃを あんぜんに のるための、「めあて」をかながえましょう。

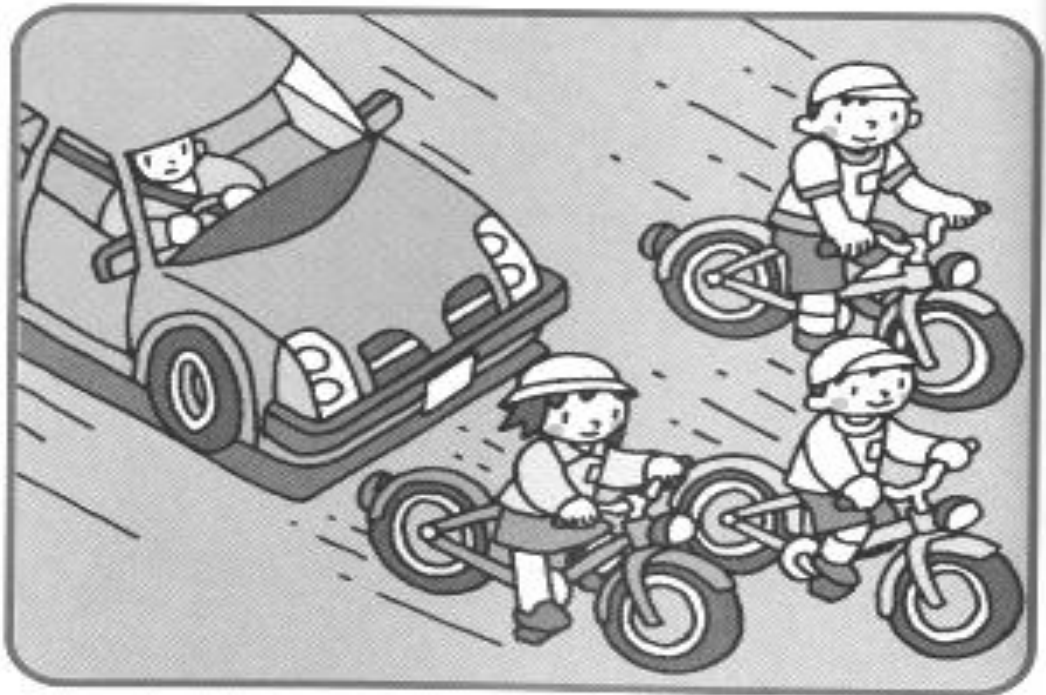
④小学校中学年 特別活動（短時間扱い）

題材名	並進・集団走行の危険		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・並進・集団走行の危険を知り、正しく道路走行をしようとする意欲と態度を育てる。</li> <li>・潜在的な危険を読み、自転車の安全な運転ができるようにする。</li> </ul>		
段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点	資料
はじめ	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 問題場面を知る。</p> <div data-bbox="274 636 1326 730" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>道路で自転車にのるとき、並んで走ったり、大ぜいで走ったりすると、どんなきけんがありますか。</p> </div> 	<p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。 （どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</p> <p>・並進や集団走行の危険について理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車が横に並んで走っている。</li> <li>・自転車の後ろから車が走ってくる。</li> </ul>	場面絵
展開	<p>○場面を分析する。</p> <p>2 道路での危険を予測する。</p> <p>3 自転車の乗り方から事故を防ぐにはどうしたらよいか考える。</p> 	<p>T 「道路を並んで走るとどんな危険がありますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵を見て、場面に潜む危険について児童に考えさせる。</li> <li>・並進や集団走行することで、どんな事故が起こりやすいか考えさせる。</li> </ul> <p>T 「自転車で安全に道路を走るにはどうしたらいいですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1列で走る。</li> <li>・スピードを出しすぎない。</li> <li>・ふざけない。</li> <li>・交通ルールを守る。</li> </ul> <p>○態度面だけではなく、心理面についてもふれるようにする。</p>	ワークシート 正しい自転車走行の場面絵
まとめ	<p>○安全行動を適応する</p> <p>4 道路の正しい走り方について自分のめあてを持つ。</p>	<p>T 「自転車で安全に道路を走るためのめあてを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったことをもとにして、自転車走行についての自分のめあてを考えさせる。</li> <li>・本時の学習をもとに日常生活に役立てようとする意欲を持たせる。</li> </ul>	

へいしん しゅうだんそうこう きけん  
「並進・集団走行の危険」ワークシート

名前 \_\_\_\_\_

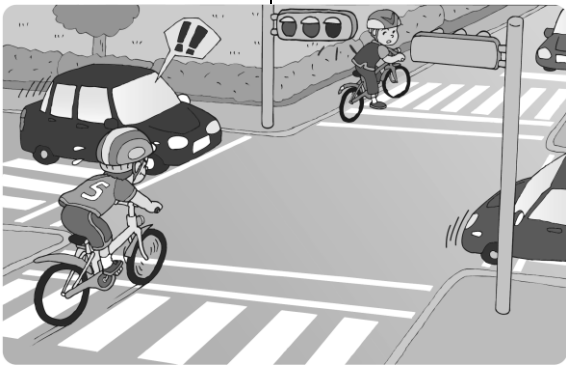

- 1 道路で自てん車にのるとき、並んで走ったり、大ぜいで走ったりすると  
どんなきけんがありますか？（○をつけて、ことばで書きこみましょう）



- 2 自てん車で安全に道路を走るにはどうしたらいいですか？

- 3 自てん車で安全に道路を走るための「めあて」を考えましょう。

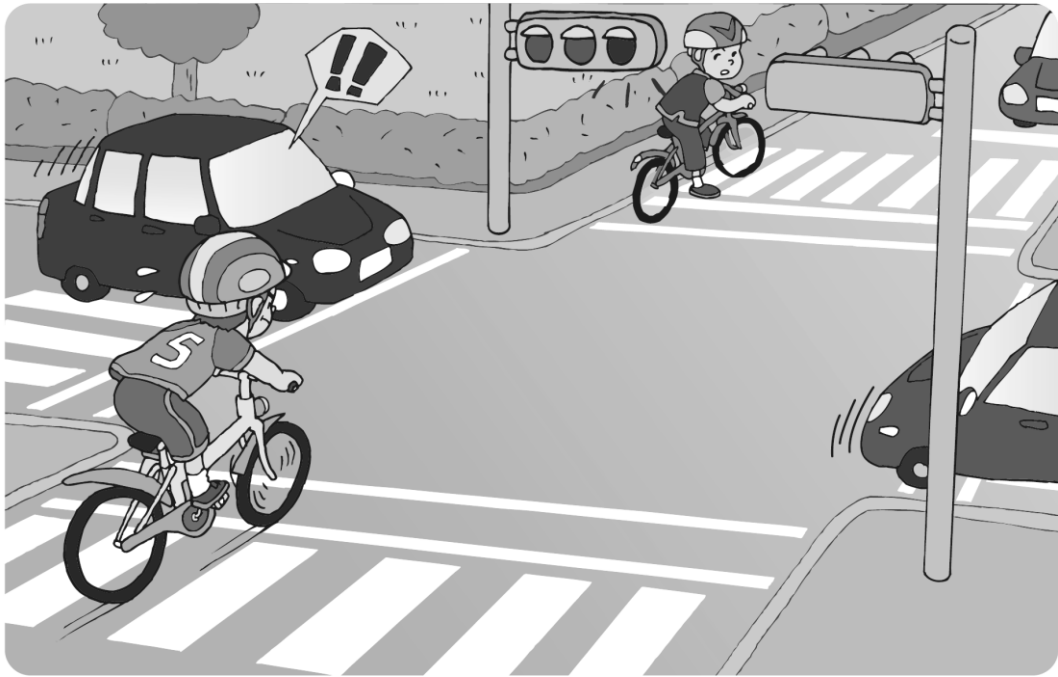
⑤小学校中学年 特別活動（短時間扱い）

題材名	<b>信号無視の危険</b>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信号の意味、交通法規の意義が理解できるようにする。</li> <li>・自転車乗車通における信号無視の危険を予測することができるようにする。</li> <li>・交通社会の一員として、ルール・マナーを守った運転ができるようにする。</li> </ul>		
段階	学習内容・活動内容	指導上の留意事項	資料
はじめ	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 問題場面を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     自転車に乗っているとき、前の信号が赤色になりました。                      どんな危険がありますか？                 </div> 	<p>・交通場面から読みとれるものを、できるだけ多く発表させる。                      （どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</p> <p>・自転車が交差点に入ろうとしている。                      ・信号は赤。                      ・車が動こうとしている。                      ・前に行く友達に追いつこうとしている。</p>	場面絵
展開	<p>○場面を分析する。</p> <p>2 起こりうる事故を予測する。</p> <p>3 事故の理由・安全行動を考える。</p>	<p>T 「どんな危険が起こりそうですか？」</p> <p>・交通状況から読み取れる危険を、できるだけ多く発表させる。                      （なぜ危険なのか理由を明らかに）</p> <p>T 「自転車で安全に交差点を走るには、どうしたらいいですか？」</p> <p>・原因追求をし、事故にあわないための具体的な行動を考える。                      ・間違った行動や、児童が見おとしている内容について、教師が確実に補足する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【人的要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・油断（たぶん大丈夫）</li> <li>・あせり（いそがなくちゃ）</li> <li>・不注意（おしゃべり）</li> <li>・信号を待つことのリスクを大きいと感じる。                          （今渡らないと、長い時間待たされる。）</li> </ul> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「一時停止」「左右確認」の徹底</p> </div>	ワークシート
まとめ	<p>○安全行動を適用する。</p> <p>4 安全行動を実践化できるようにする。</p>	<p>T 「自転車で安全に交差点を走るためのめあてを考えましょう。」</p> <p>・各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</p>	

しんごう むし きけん  
「信号無視の危険」ワークシート

名前 \_\_\_\_\_

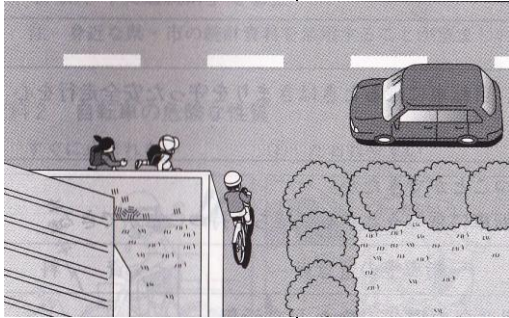
- 1 自てん車に乗っているとき、前の信号が赤になりました。  
どんな危険がありますか？（○をつけて、ことばで書きこみましょう）



- 2 自てん車で安全に交差点を走るにはどうしたらいいですか？

- 3 自てん車で安全に交差点を走るための「めあて」を考えましょう。

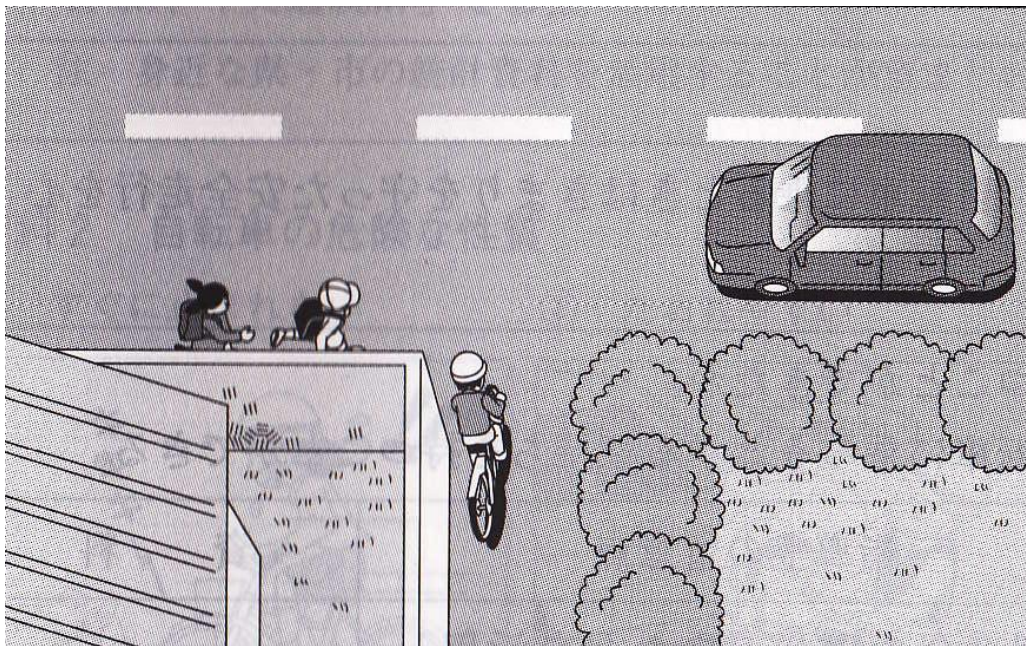
⑥小学校中学年 特別活動（短時間扱い）

題材名	<b>自てん車で狭い道から広い道に出るとき</b>		
ねらい	・飛び出しの危険性を理解し、飛び出しをしないで安全に自転車に乗ることができるようにする。		
段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点	資料
はじめ	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 問題場面を知る。</p>	<p>・交通場面から読みとれるものを、できるだけ多く発表させる。 （どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</p> <p>・細い道から広い道に出るときには、事故に遭うことが多いことを意識させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">             自転車で狭い道から広い道へ出ようとしています。              どんな危険がありますか？         </div> <div style="text-align: center; margin: 10px auto;">  </div> <p>・自転車が広い道に出ようとしている。 ・車が広い道を走っている。 ・小学生が走っている。</p>	場面絵
展開	<p>○場面の分析をする。</p> <p>2 起こりうる事故を予測する。</p> <p>3 事故の理由・安全行動を考える。</p>	<p>T 「どんな危険が起こりそうですか。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             左側から歩行者が来ていて、飛び出したらぶつかる。              右側から自動車が出て来て、飛び出したらぶつかる。         </div> <p>T 「自転車で安全に広い道に出るにはどうしたらいいですか？」</p> <p>・危険を予測して回避するために、減速したり一時停止したりすることの大切さをしっかり理解させる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>「しっかり見る」 → 広い道に出るときには一時停止して左右の確認をする。              「相手からの視点を考える」 → 見えないところの状況を予測しながら走行する。              「安全のための行動」 → ブレーキを使って減速する。必ず一時停止する。</p> </div>	ワークシート
まとめ	<p>○安全行動を適用する。</p> <p>4 安全行動を実践化できるようにする。</p>	<p>T 「自転車で安全に広い道に出るためのめあてを考えましょう。」</p> <p>・話し合ったことをもとにしてめあてを考えさせ、児童が安全に自転車に乗るような意識をもつようにする。 ・各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</p>	

# 「自てん車で狭い道から広い道に出るとき」ワークシート

名前 \_\_\_\_\_

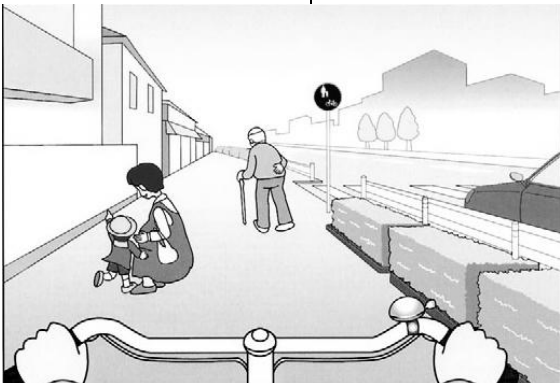

- 1 自てん車で狭い道から広い道へ出ようとしています。  
どんな危険がありますか？（○をつけて、ことばで書きこみましょう）



- 2 自てん車で安全に広い道に出るには、どうしたらいいですか？

- 3 自てん車で安全に広い道に出るための「めあて」を考えましょう。

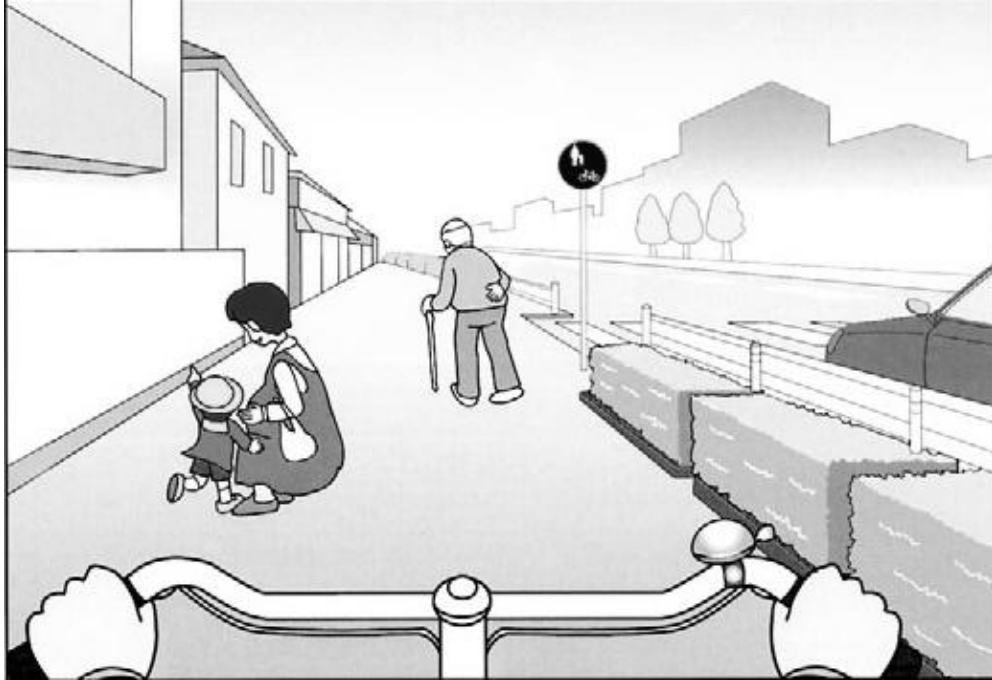
⑦小学校高学年 特別活動（短時間扱い）

題材名	加害者にならないために													
ねらい	・事故を起こしたときの責任と補償について理解し、自転車の安全な走行ができる。													
段階	学習内容	指導上の留意点	資料											
はじめ	<p><b>○問題を把握する。</b> 1 問題場面を知る。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自転車歩道を走行しているとき、どんな危険がありますか？</p> 	<p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。 (どんな意見も受け入れる雰囲気作り)</p> <p>○交通場面絵を活用し、危険予測を行う。 [予想される児童の反応] ・お年寄りとぶつかり、けがをさせてしまう。 ・小さい子とぶつかり、けがをさせてしまう。 ・小さい子の母親とぶつかり、けがをさせてしまう。 ・お年寄りや、小さい子をよけようとして、植え込みや壁に衝突してしまう。 ・お年寄りや、小さい子をよけようとして、転倒してしまう。</p>	場面絵…文部科学省 指導教材「次はどうなる？」											
展開	<p><b>○場面を分析する。</b> 2 加害事故の想定ケースに絞り、責任の大きさを考える。</p> 	<p>T「加害者になってしまったときの責任について話し合しましょう。」</p> <p>・自転車の加害事故事例を活用し、次の4つの視点から、責任の大きさを考えられるようにする。</p> <p>①被害にあった人の痛み・苦しみ ②被害にあった人の家族の悲しみ ③加害者（自分）の家族のつらさ ④補償責任</p> <p>・「(大丈夫) だろう」ではなく、「もしかしたら～」という心の目で危険を予測していく重要性を指導する。</p> <table border="1" data-bbox="710 1467 1292 1792"> <thead> <tr> <th>事故内容</th> <th>賠償金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① コンビニエンスストアで誤って自転車を倒し、駐車中の自動車を損傷</td> <td>36,678円</td> </tr> <tr> <td>② 自転車走行中、走行中の自動車に衝突</td> <td>61,418円</td> </tr> <tr> <td>③ 傘さし運転走行中、路地から出てきた自転車と衝突。相手は脳挫傷で3か月後に死亡</td> <td>1,000万円</td> </tr> <tr> <td>④ センターラインを越えてしまったところ対向車と衝突、フロントガラス及び車体損傷</td> <td>204,000円</td> </tr> </tbody> </table>		事故内容	賠償金	① コンビニエンスストアで誤って自転車を倒し、駐車中の自動車を損傷	36,678円	② 自転車走行中、走行中の自動車に衝突	61,418円	③ 傘さし運転走行中、路地から出てきた自転車と衝突。相手は脳挫傷で3か月後に死亡	1,000万円	④ センターラインを越えてしまったところ対向車と衝突、フロントガラス及び車体損傷	204,000円	ワークシート
事故内容	賠償金													
① コンビニエンスストアで誤って自転車を倒し、駐車中の自動車を損傷	36,678円													
② 自転車走行中、走行中の自動車に衝突	61,418円													
③ 傘さし運転走行中、路地から出てきた自転車と衝突。相手は脳挫傷で3か月後に死亡	1,000万円													
④ センターラインを越えてしまったところ対向車と衝突、フロントガラス及び車体損傷	204,000円													
まとめ	<p><b>○安全行動を適用する。</b> 3 安全行動を実践化できるようにする</p>	<p>T「今までの自分の運転をふりかえり、これからも事故のない運転をするためのめあてを考えましょう。」</p> <p>・児童が、自分自身の言葉で学習をまとめる活動にする。 ・自分のこれまでの自転車運転を振り返り、具体的な改善点を目標にできるようにする。</p>												



# 「加害者にならないために」ワークシート

名前 \_\_\_\_\_




(文部科学省 指導教材「次はどうなる？」より)

- 1 自転車で歩道を走行しているとき、どんな危険がありますか？

- 2 加害者になってしまったときの責任について話し合みましょう。

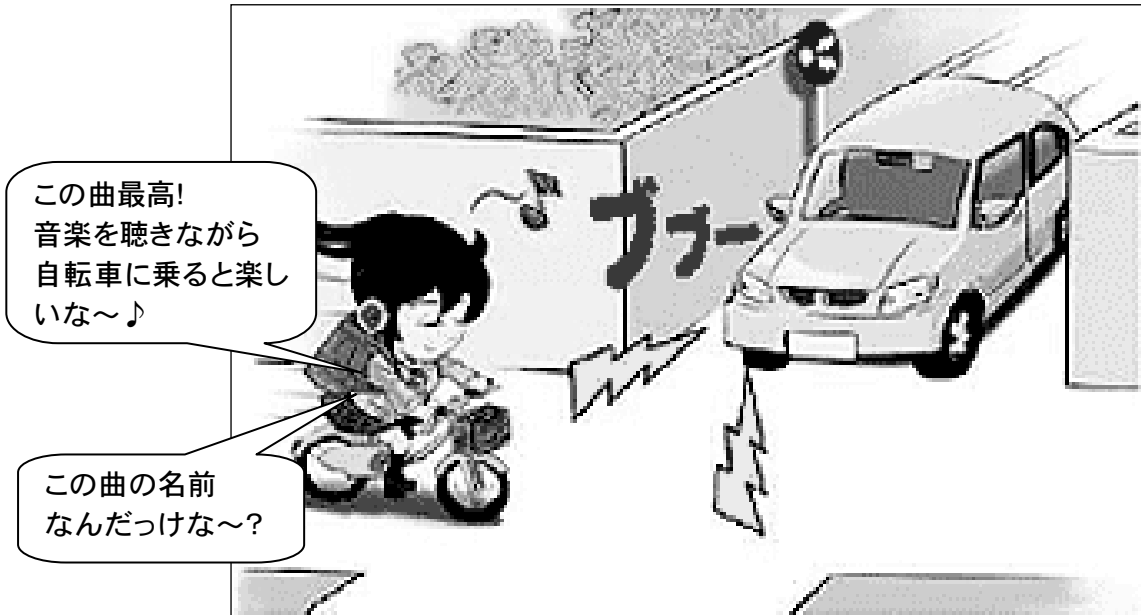
- 3 今までの自分の運転をふりかえり、これからも事故のない運転をするための「めあて」を考えましょう。

⑧小学校高学年 特別活動（短時間扱い）

題材名	イヤホンで音楽を聞きながら自転車で走行すると？		
ねらい	・音楽をイヤホンで聴いたり、携帯電話を使用したりしながら、自転車を運転する際の危険性に気づき、状況に応じた安全な走行ができる。		
段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点	資料
はじめ	<p>○問題を把握する。</p> <p>1 問題場面を知る。</p> <div data-bbox="363 613 1169 712" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     イヤホンで音楽を聞きながら自転車を運転しています。 この後、どんな危険がありますか？                 </div> <div data-bbox="236 734 523 904" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     この曲最高！ 音楽を聴きながら自転 車に乗ると楽しいな～♪                 </div> <div data-bbox="236 1016 491 1128" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     この曲の名前なん だっけな～？                 </div> 	<p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。 （どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</p> <p>・自転車で乗ってイヤホンを聞いている。 ・前を見ていない。 ・車がクラクションを鳴らしている。</p>	場面絵
展開	<p>○場面分析をする。</p> <p>2 起こりうる事故を予測する。</p> <p>3 事故の理由・安全行動を考える。</p>	<p>T 「どんな危険が起こりそうですか。」</p> <p>・交通状況から読み取れる危険を、できるだけ多く発表させる。 （なぜ危険なのか理由を明らかに）</p> <p>・場面の状況の細かい部分にも着目させ、様々な危険について予測する。</p> <p>T 「なぜイヤホンで音楽を聞きながら自転車で走行すると危ないのでしょうか。事故の理由と安全行動を考えましょう。」</p> <p>・人物の心理状態や置かれている状況等にも注目させる。 ・発表された危険は、どのようにしたら避けられるかについて考えを発表させる。 ・携帯電話の使用や音楽を聴きながらの自転車の運転をしないように心がけさせる。</p>	ワークシート
まとめ	<p>○安全行動を適用する。</p> <p>4 安全行動を実践化できるようにする。</p>	<p>T 「自転車を安全に乗るためのめあてを考えましょう。」</p> <p>・自転に乗る場合は、運転に集中し、音楽を聞いたり、携帯電話を使用したりしながらの運転をしないことをめあてとさせる。 ・各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</p>	

# 「イヤホンで音楽を聞きながら自転車で走行すると？」ワークシート

名前 \_\_\_\_\_

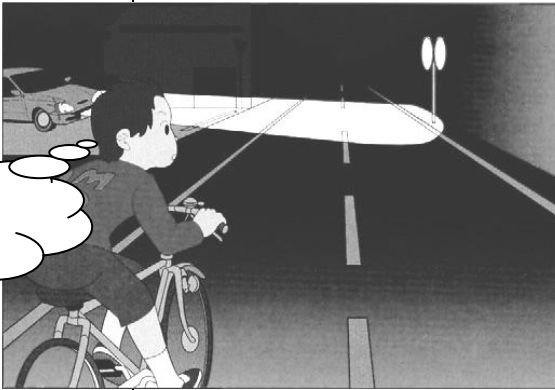


- 1 イヤホンで音楽を聞きながら、自転車で走行しています。  
どんな危険がありますか？

- 2 なぜ、イヤホンで音楽を聞きながら自転車で走行すると危ないのでしょうか？ 自転車を安全に乗るには、どうしたらいいですか？

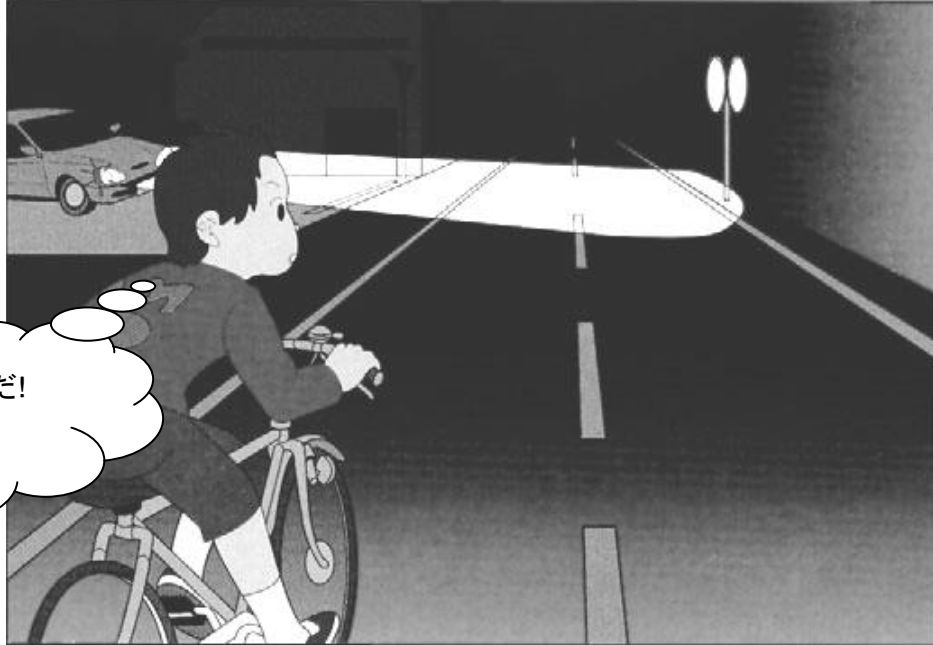
- 3 自転車を安全に乗るための「めあて」を考えましょう。

⑨小学校高学年 特別活動（短時間扱い）

題材名	<b>無灯火運転の危険</b>		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通状況を読み取り、起こりうる危険を予測できるようにする。</li> <li>・夜間時における、自転車の適切な運転方法を身につけられるようにする。</li> <li>・交通社会の一員として、ルール・マナーを守った運転ができるようにする。</li> </ul>		
段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点	資料
はじめ	<p><b>○問題を把握する。</b> 1 問題場面を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>夜、ライトをつけずに自転車で走行し、スピードを落とさずに交差点に近づきました。どんな危険がありますか。</p> </div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>もうこんな時間だ。 早く帰らないと。</p> </div>	<p>・交通場面から読み取れるものを、できるだけ多く発表させる。 （どんな意見も受け入れる雰囲気作り）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間</li> <li>・暗くて見えない</li> <li>・自転車のライトなし</li> <li>・前に車</li> <li>・急いでいる。</li> </ul>	<p>場面絵…文部科学省 指導教材「次はどうなる？」</p>
展開	<p><b>○場面を分析する。</b> 2 起こりうる事故を予測する。</p> <p>3 事故の理由・安全行動を考える。</p>	<p>T 「どんな危険が起こりそうですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通状況から読み取れる危険を、できるだけ多く発表させる。 （なぜ危険なのか理由を明らかに）</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車が右左折して衝突する。</li> <li>・右車線によけてもライトをつけてないため、気づかれずに衝突する。</li> </ul> </div> <p>T 「なぜライトをつけずに自転車で走行すると危険なのでしょう。夜、自転車を安全に乗るにはどうしたらいいのでしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の事故は、午後に多く、特に15時から18時頃までが多いため、下校する時間や帰宅後に注意することが大切であることを補足する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>具体的な危険回避方法</p> <p>「しっかり見る」 →ライトをつけて、障害物や異状を確認する。</p> <p>「しっかり見せる」 →ライトの点灯や反射材の活用、目立つ服装にしたりすることで、自動車や歩行者に自分の存在を知らせる。</p> <p>「相手からの視点」 →無灯火の自転車は、自動車からは認識されないため、点灯が大切。また明るい服装のほうがより遠くから認識しやすいため、服装にも注意する。</p> <p>「安全のための行動」→夜間は必ずライトをつけ、交差点では徐行して周囲の確認をする。</p> </div>	<p>ワークシート</p>
まとめ	<p><b>○安全行動を適応する。</b> 4 安全行動を実践化できるようにする。</p>	<p>T 「夜、自転車を安全に乗るためのめあてを考えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各自が行動目標を立て、実践化・習慣化を目指す。</li> </ul>	

# 「無灯火運転の危険」ワークシート

名前 \_\_\_\_\_



もうこんな時間だ!  
早く帰らないと。

(文部科学省 指導教材「次はどうなる？」より)

- 1 夜、ライトをつけずに自転車で走行し、スピードを落とさずに交差点に近づきました。どんな危険がありますか？

- 2 なぜ、ライトをつけずに自転車で走行すると危ないのでしょうか？  
夜、自転車を安全に乗るには、どうしたらいいですか？

- 3 夜、自転車を安全に乗るための「めあて」を考えましょう。

## 4. 事業の考察と課題

## 4. 事業の考察と課題

### (1) 自転車交通安全教室

園児や児童を対象に自転車の実技体験を通じて安全意識を醸成する自転車教室を8ヶ所で行った。

これまで学んできたことをしっかりと定着させるために、具体的な交通場面の中で、どんな危険があり、どうすれば安全なのか、安全確認はどのようにするのか等を実技を通じて学習した。

指導に当たっては、「どうしてあぶないの?」とか「こうすると、どうなるの?」などと発問し、危険な行動が事故に結びつくことを自ら考え、気づかせることに重点を置いた。

また、「～してはいけません」と言った禁止的な指導だけでなく、ではどうすればよいか、例えば、「ここで必ず立ち止まる」とか「どの信号を見る」とか正しい行動の仕方を具体的に指導している。さらに、一緒に考え話し合う事も心掛けている。

「守らないとなぜ危険なのか」について考え、気づくことによって交通安全についての意識が一層高まる。学んだ内容を路上で復習し、外出する前に予習するなどをして人を思いやることができる優しい心の子どもに育ててくれることを期待している。

### ① 幼児の交通講話を交えた自転車指導について

当協会の調査では、幼児の段階で自転車を所有し、「小学校入学前までに乗れる」が92.3%であることから、「自転車に慣れる」段階の内容としている。例えば、「左側から乗り、左側を走り、左側から降りる」ことの指導、ブレーキのかけ方指導、ヘルメットの着用指導の3点について学習している。園児のほとんどが乗れるため理解度が早く、真剣に学ぶことができ、講話を交えながらの指導は効果的であった。

### ② 児童の自転車指導について

各学校において指導の学年が異なるため、1～3学年と4～6学年とで段階的に指導内容を工夫した。自転車利用は学年が高くなるにしたがい買い物や習い事など一人で出かける機会が増え、使用目的が多様化し、行動範囲も広がる。また、自転車についての知識や運転技能が未熟なことから壁や建物などにぶつかる（ぶつかりそうになる）、人や車などにぶつかる（ぶつかりそうになる）など、実際に事故やヒヤリ体験をしている児童の割合は高い。このことから、「自転車の特性」「安全な運転の仕方」「交通ルール」の面からの自転車の安全な利用の仕方について、低学年から段階的・体系的に継続して指導を実施していくように努めている。

#### 〈参加した児童の感想〉

- ◆限られた時間ではあるが、自転車についての知識を実技指導等で学習した結果、参加した児童の意識向上が見受けられた。
- ・「止まれ」は右見て、左見て、後ろを見る。
- ・自転車に乗るときは、「ぶたべるさはらち」(自転車点検)をする。
- ・自転車に乗るときは、左から乗って、左に降りる、そして、左を走る。
- ・「止まれ」は必ずとまる、そして周りを確認する。
- ・自転車に乗ったらスピードを出さないように運転する。
- ・横断歩道は歩いて渡る。
- ・指導者にパーフェクトと言われて嬉しかった、自信になった。
- ・指導者がやさしく、わかりやすく教えてくれてよくわかった、事故に気をつけます。
- ・一番難しかったことは、車の陰から前をのぞきこんで確認するところでした。
- ・自転車に乗るときは、後ろを見てから乗ることを始めてわかった。
- ・自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶります。
- ・止まっている車のそばを通るとき「どうすればいいのかな」と考えたことはなかった。
- ・止まれの標識を無視して走っていたが、標識の意味がよくわかった。
- ・歩いている人にベルを鳴らさないようにします。
- ・一度事故に遭ったことがあるけど、今日教えてくれたことを頭にいれて運転する。
- ・「命」がとても大切なことが前よりよくわかりました。
- ・一人ひとり自転車に乗って体験できたので良かった。
- ・知らなかったルールがよく分かるようになった。

#### ④保護者の参加型学習とその役割

自転車教室と同じ会場でPTAの方を対象に「自転車の正しい乗り方教室」を実施し、自転車の特徴やルール・マナー、日常の点検等についてレベルアップを図った。

また、保護者のアンケート調査からも自転車のルールを知らない人が4割もいることから、保護者が子どもに対してお手本を示せるまでに個々の意識を高められるような指導に心掛けてきた。保護者が指導者の話を熱心に聞き入っている姿が数多く見受けられた。

保護者の方は、「どのような時に、どのようにして交通事故にあうのか、どうすれば事故にあわないのか」を子どもと一緒に考える良い機会になったと思われ、お互い交通ルールやマナーを守って行動することが極めて重要であることに気づいてもらうねらいもあった。

#### ⑤自転車点検について

毎年、同じ小学校でブリヂストンサイクル株式会社の整備士3名の方にご協力いただき、親子の自転車点検を実施している。今年も2時間でおよそ100台の自転車を点検整備し、修理が必要な個所は近くの自転車店に行くように指導した。点検による



整備結果は以下の通り。

タイヤ (53 台)、ブレーキ (44 台)、ライト (34 台)、チェーン (19 台)、  
ベル (11 台)、反射器材 (9 台)、ハンドル (9 台)、ペダル (7 台)、サドル (3 台)

(2) 自転車交通安全指導者研修会 (小・中学校教員対象) について

本研修会は埼玉県内の地域を拠点にして、自転車を含めた交通安全教育の充実と児童・生徒に交通ルールの遵守や自ら安全な行動がとれるようにすることを目的に、実践的な自転車の指導方法をテーマとして自転車に関するルールや加害事故と損害賠償、危険予測学習の進め方等について研修を実施した。

この研修会では、児童・生徒に学校周辺の交通状況等を理解させ、どのような安全行動をとるべきか考え、気づかせ、そのプロセスを大事にして、それぞれの学校毎に地域実践活動を積極的に行っていただき成果を得るものである。

(3) 危険予測学習用「安全教育指導プログラム」について

平成 23 年度から全面実施される小学校学習指導要領総則第 1 の 3 において、「安全に関する指導」について、学校における教育活動を通じて行わなければならない内容として、その位置づけが明確になった。しかし、現場は過密な時間割の中で、新たな交通安全教育を時間割で導入することは難しいだろう。そこで、既に実施されている交通安全教育をより効果的・効率的に実施するための方策が求められている。今回、作成した指導案では「なぜ危険なのか」「どうすれば安全なのか」について、児童が自らの課題として捉えられるようにし、じっくり考えさせ、思考力や判断力を高め、適切な意志・決定・行動選択ができるような内容であり、その際、危険を予測し回避する能力を身につけられるような指導展開を工夫している。また、短時間扱いでの指導案の効果を高めていくアイデアを練りあげてまとめている。さらに、学習指導要領との整合性を図り、各学校の児童の発達段階も考慮したものになっている。

学習指導要領の改訂でも、安全教育について、子どもが安全に関する情報を正しく判断し、安全のための行動に結びつけることができるようにすること、すなわち、自他の危険予測・危険回避の能力を身につけることができるようにする観点から、発達の段階を踏まえつつ、学校の教育活動全体を確保するためには、自己の心身の状態や行動の仕方に気をつけることを理解させる必要がある。また、人々が安全に安心して暮らすためには一人ひとりが責任をもって、社会全体で生活環境を整えていくことが大切であることを理解させる必要があることも作成する上で留意した点である。

## 5. 今後の事業展開について

## 5. 今後の事業展開

### ◆本年度の事業実績をふまえた今後の事業展開

#### 地域における「自転車指導実践校」の新たな定着校数の拡大

自転車指導が定着した実施校の新たな拡大を図り、地域全体での交通安全意識を高め、自転車事故の減少につなげていく

#### 地域における指導体制の確立

実施校への体験型指導、地域内での実施校拡充活動、行政・団体など関係機関との連携など、地域のコーディネーターとして活躍できる人材を育成し、地域の指導体制を確立する。

#### 小学校教師用「安全教育指導プログラム」の活用と充実

小学校の教師が授業で手軽に活用できるプログラムを活用し、学校現場での自転車交通安全教育の普及拡大を図るための授業支援を行う。また、今後は授業展開の中で使用する教材を静止画から動画に移行し、一層効果的に活用できる教材を検討する。

#### 教材を活用した自転車交通安全教育の一層の充実

教材や指導書を活用して、教師・家庭が相互に連携し、指導としつけの一貫性を持たせながら、子どもの交通安全意識の定着化と正しい交通行動の習慣化を目指す。

自転車交通安全教育地域一体型プロジェクト  
報告書

---

発行 平成23年3月  
財団法人日本交通安全教育普及協会  
〒106-0031  
東京都港区西麻布3-24-20  
TEL 03-3478-1831 (代)  
FAX 03-3478-1835

---